

内分泌疾患群の登録・評価に関する研究

分担研究者 横谷 進 国立成育医療研究センター内科系専門診療部長

研究要旨

小慢事業が偏在なく施行されているかを評価するため法制化後の登録状況の動向を解析すること、これら稀少疾患の実態を臨床医にフィードバックできるよう臨床像の解析を行うことを目的とした。登録状況の解析として、都道府県別・疾患別の登録状況の動向を検討した。また、小慢申請病名には、純粋な学問的な立場等から実地臨床にそぐわない病名も認められることから、それら不適切病名の登録状況を解析した。臨床像の解析として、21 水酸化酵素欠損症(21OHD)、ICD10 コード E25.0A の解析を行った。

上位 20 疾患の内訳には、大きな変化は認められず、患者数は法制化後の平成 17 年度以降で同様の傾向であった。病名の細分化が行われた甲状腺機能低下症を来す疾患群、先天性副腎過形成を来す疾患群、思春期早発症を来す疾患群の登録状況では、甲状腺機能低下症(E03.9)は減少傾向が続いていた。平成 17 年度に増加した、21 水酸化酵素欠損症(E25.0A)、先天性副腎リポイド過形成(E25.0B)は一定の傾向となった。先天性副腎過形成(E25.0)は減少傾向が続いていた。思春期早発症(E22.8)が減少傾向、中枢性思春期早発症(E22.8A)の増加傾向が続いていた。従って、病型毎の登録状況が進んでいるとともに、まだ病名の移行が進む可能性が示唆された。

不適切病名として挙げられた疾患は、2 つのグループに分けることができた。すなわち、(1)同一 ICD10 コードが、他の同じ病態を示す疾患に使用されている(例えば、真性思春期早発症と中枢性思春期早発症、クレチン症と先天性甲状腺機能低下症など)、(2)同一 ICD10 コードが、病態の異なるいくつかの疾患に使用されている(例えば、睾丸機能低下症、高ゴナドトロピン性類宦官症、性腺性思春期遅発症)。前者においては、病名が統一されても問題はないと思われた。後者においては、疾患別のデータベース構築という観点からも、登録の見直しが必要であると思われた。

21OHD の解析において、成人身長は男子 $161.1 \pm 6.8\text{cm}$ (-1.67SD)、女子 $153.3 \pm 5.7\text{cm}$ (-0.91SD)であり、ともに標準より低い。女子の身長予後の方が良好であることが分かった。思春期開始年齢との相関は認めなかったが、症例数が少なく今後の検討が必要である。同様に、BMISDS との相関も統計学的有意差は認められなかったが、肥満するほど身長が低い傾向にあった(男子($R=-0.241$, $P=0.073$), 女子($R=-0.169$, $P=0.201$))。年齢別身長 SDS の検討では、男女とも、0 歳時には、正の値を示すが、1 歳で男子 $-1.31 \pm 1.96\text{SD}$ 、女子 $-1.49 \pm 1.15\text{SD}$ に低下した。男子では、学童期には骨年齢の進行に伴い身長 SD の改善傾向となったが、最終的には 17 歳時 $-1.66 \pm 1.17\text{SD}$ で、1 歳時の身長 SDS を下回った。一方、女子では、学童期には骨年齢の進行に伴い身長 SD の改善傾向となったが 17 歳時 $-0.99 \pm 1.16\text{SD}$ で乳児期のそれを上回っていた。従って、標準身長とならない共通した要因として、おそらくはステロイド過剰投与によると思われる乳児期の成長抑制が持続すること、また、思春期前の骨年齢促進の存在が示唆された。成人身長の性差については、思春期開始前後での骨年齢促進の程度に男女間で有意差はなく、早期骨端線閉鎖の影響は明らかではなかった。一方、12 歳時の BMISDS が男子では女子より有意に大きく、成人身長 SDS の違いが肥満と関連する可能性が示唆された。思春期開始年齢は、男子平均 10.3 ± 2.6 歳、女子平均 10.2 ± 2.6 歳であり、男子は日本人標準より早い傾向にあり、女子は遅い傾向にあった。しかしながら、思春期開始年齢は、月齢の記入欄がなく、実際の年齢より過小評価される可能性がある。従って、日本人標準と大きな隔たりはないものと考えられた。

分担協力者 鈴木 滋(旭川医科大学小児科)

A.研究目的

小児慢性特定疾患治療研究事業(小慢事業)では統一されたフォーマットによる登録体制が平成 10 年度から開始され、稀少な慢性疾患の疫学的解析および縦断的解析に有用である。10 年間に経過したことにより、解析に足る十分なデータが蓄積されてきた。一方で、平成 17 年度に、小慢事業が法制化され、登録条件として治療を受けていることが必須となり、さらに登録病名に若干の変更が加えられた。本分担研究では、小慢事業が偏在なく施行されているかを評価するため法制化後の登録状況の動向を解析すること、これら稀少疾患の実態を臨床医にフィードバックできるよう臨床像の解析を行うことを目的とする。

今年度、登録状況の解析としては、都道府県別・疾患別の登録状況の解析を実施し、その動向を詳細に検討した。また、小慢申請病名には、純粋な学問的な立場(主に病態の理解から見た)や、名称の適切・不適切の判断(既に使われなくなっている病名等)により、不適切と考えられる病名があるため、それらの疾患の登録状況を解析した。

臨床像の解析として、21 水酸化酵素欠損症(21OHD)、ICD10 コード E25.0A の解析を行った。21OHD の治療目標は、不足するステロイドホルモン補充により、副腎不全を回避すること、ならびに過剰なアンドロゲンを抑制することにより正常な思春期発来をもたらし、正常な発育を促すことにある。生命予後の改善は得られるようになったものの、成人身長は一般人口に比し、低いことが知られており、ステロイドホルモン補充療法については、検討の余地がある。従って、今回、日本人での治療成績の実態調査として、auxological parameter についての検討を行った。

B.研究方法

本年度の解析に用いたデータにおいて、未提出自治体は、平成 16 年度で 2 カ所、17 年度で 1 カ所、18 年度で 3 カ所、19 年度で 3 カ所、20 年度で 8 カ所である。

1) 都道府県別登録患者数の年次推移

平成 10 年度からの登録数を集計した。政令指定都市、

中核都市の登録数は所属する都道府県にまとめて集計した。さらに、登録状況の違いを検討するため、小児人口に対する登録比を、各都道府県の 20 歳未満人口に対する登録数(対人口比=登録数/20 歳未満人口 $\times 10^{-3}$)(小児人口に対する割合)を算出した。20 歳未満人口は、統計局のホームページで公開されているデータを使用した。なお、小児人口に対する割合を算出する際、未提出自治体の 20 歳未満人口は除いた。

2) 疾患毎の年次推移

I)平成 17 年度～20 年度に関し、登録が多い上位 20 疾患について、男女比、年齢、新規・継続数を集計した。

II)上位 20 疾患の中で、特に登録数に変化が認められた疾患群は、甲状腺疾患群、先天性副腎皮質過形成を来す疾患群、思春期早発を来す疾患群であり、これらに含まれる病型における登録者数の推移を、法制化前後の、平成 16 年度～19 年度において検討した。

III)疾患毎の都道府県別登録状況として、上位 20 疾患の中で、成長ホルモン分泌不全性低身長症を除いた、頻度の多い疾患である、甲状腺疾患(先天性甲状腺機能低下症(E03.1A)、甲状腺機能低下症(E03.9)、慢性甲状腺炎(E06.3)、甲状腺機能亢進症(E05.0))、副腎疾患(先天性副腎(皮質)過形成(E25.0)、21 水酸化酵素欠損症(E25.0A)、先天性副腎リポイド過形成症(E25.0B))、思春期早発症(E22.8)、中枢性思春期早発症(E22.8A)、ターナー症候群(Q96)およびプラダー・ヴィルリ症候群(Q87.1A)について、方法1と同様に解析した。

3) 不適切と考えられる病名の登録状況

差別的疾患名であり使用が好ましくないもの、現在ほとんど使用されていないもの(学会等から新たな名称が提唱され既に使用されているもの)、医学的に明らかに誤りがあるもの、使用により混乱が生じる可能性が高いものいずれかに該当する不適切病名の登録状況を解析し、疾患名の整理が可能であるかを検討した。

4) 21OHD(E25.0A)の解析

I)成人身長・体重の解析

H10 年度～H21 年度の各登録患者より 18 歳の症例を抽出し、成人身長分布、身長 SD スコア(17 歳 6 か月の標

準身長および標準偏差を使用)および body mass index (BMI)を算出した。成人身長と思春期開始年齢の相関解析を解析した。

II) 身長、体重に関する横断的解析

H10 年度～H21 年度の各登録症例の年齢別身長 SD スコア、年齢別 BMISD スコアを算出した。

III) 思春期に関する横断的解析

H10 年度～H21 年度の各登録症例の思春期開始年齢の分布を算出した。また、女子においては Tanner stage (Breast)の各年齢での分布を算出した。

統計学的解析は、2 変量の相関に関しては、単回帰分析を行い、2 群間の比較は t 検定を行い、 $P<0.05$ を有意差ありとした。

C. 結果と考察

1) 都道府県別登録患者数の年次推移(表 1-1)

解析に用いたデータにおいて、未提出自治体は*印で示した。法制化した平成 17 年度以降の全登録数は平成 11 年～16 年度とほぼ同様で一定していた。

都道府県別の小児人口に対する割合の過去 5 年間の推移を表 1-2 に示す。対人口比において、全国平均の +1.5SD 以上(赤色)が続いているのは、島根県、岡山県、香川県、沖縄県であり、-1.5SD 未満が続いているのは、茨城県であった。全体としては自治体毎に大きな偏りはなく、登録患者数は自治体毎で、法制化の影響は認められなかった。

2) 疾患毎の年次推移

I) 登録が多い上位 20 疾患(表 2)

平成 17 年度から平成 20 年度について、登録が多い上位 20 疾患を表 2 に示した。

平成 17 年度では、新規登録数および継続登録数も増加したが、それ以降、この傾向は続いていなかった。

法制化前後において、上位 20 位の内分泌疾患群患者の全体に占める割合に変わりはなく、約 96%であった。平成 17 年度に、新たに上位 20 に入った疾患である、中枢性思春期早発症(E22.8A)、先天性副腎リポイド過形成症(E25.0B)、汎下垂体機能低下症(E23.0A)、副腎形成不全(Q89.1)は平成 18 年度以降も、その順位を保っていた。

一方、上位 20 から外れた疾患は、単純甲状腺腫(E04.0)、甲状腺腺腫(D34)であり、このうち、甲状腺腺腫(D34)は登録自体がなくなり、単純甲状腺腫(E04.0)が甲状腺腺腫に病名変更となった。

上位疾患の中でも、甲状腺機能低下を来す疾患群、先天性副腎皮質過形成の各病型、思春期早発を来す疾患群は、登録数に変化が認められ、病型毎に細分化されて登録されるようになったが、他の疾患に登録数の変化は認められず、平成 20 年度まで継続している。

II) 法制化後に登録の細分化が進んだ疾患群についての解析(図 2)

1. 甲状腺機能低下を来す疾患群(図 2-1)

平成 17 年度に、甲状腺機能低下症(E03.9)が減少し、先天性甲状腺機能低下症(E03.1A)、甲状腺刺激ホルモン分泌低下症(E23.0D)、先天性ヨード欠乏症候群(E00.1)および処置後甲状腺機能低下症(E03.2)が増加した。慢性甲状腺炎(E06.3)の登録数はほぼ同様であった。甲状腺機能低下症(E03.9)は、平成 18 年度も減少傾向であり、平成 19 年度には全国で 30 例となった。

一方、先天性ヨード欠乏症候群(E00.1)、処置後甲状腺機能低下症(E03.2)については、平成 18 年度は、法制化前と同様に、ほとんど登録は認められなかった。この理由としては、法制化時の事務的なトラブルがあった可能性が考えられる。

2. 先天性副腎皮質過形成を来す疾患群(図 2-2)

平成 17 年度に増加した、21 水酸化酵素欠損症(E25.0A)、先天性副腎リポイド過形成(E25.0B)は一定の傾向となった。先天性副腎過形成(E25.0)は減少傾向が続いている。また、平成 17 年度に増加した 11 β 水酸化酵素欠損症(E25.0D)は、18 年度以降は法制化前と同様の登録数に減少した。副腎性器症候群(E25.9)は平成 19 年度には 7 例まで減少した。

3. 思春期早発を来す疾患群(図 2-3)

平成 17 年度以降、思春期早発症(E22.8)が減少傾向、中枢性思春期早発症(E22.8A)が増加傾向であり、平成 19 年度には前者が 44%、後者が 54%となっている。

II) 上位疾患の都道府県別登録状況の推移

II-A) 先天性甲状腺機能低下症(E03.1A)(表 II

-A-1 および 2)

平成 16 年度から 17 年度にかけ、多くの自治体で患者数が増加したが、以降、登録患者数はほぼ一定となっている。対人口比において、全国平均の+1.5SD 以上(赤色)が続いているのは、鹿児島県と沖縄県であった。一方、-1.5SD 未満が続いている自治体はなかった。法制化前後で、自治体毎に小児人口に占める割合に偏りは認められなかった。

II-B) 甲状腺機能低下症(E03.9) (表 II-B-1 および 2)

平成 16 年度から 17 年度にかけ、全ての自治体において患者数が減少し、その傾向は以後も続いていた。また、対人口比では、17 年度以降、富山県、滋賀県、高知県において、登録数の割合が上昇していたが、登録実数自体は上昇しておらず、他の自治体における登録数の減少による相対的な変化であった。

II-C) 慢性甲状腺炎(E06.3) (表 II-C-1 および 2)

法制化前後 3 年間で、登録数に大きな変化は認められなかった。対人口比において、全国平均の+1.5SD 以上(赤色)が続いているのは、島根県および高知県であった。法制化前後で、自治体毎に小児人口に占める割合に偏りは認められなかった。

II-D) 甲状腺機能亢進症(E05.0) (表 II-D-1 および 2)

全体の登録数として、平成 16 年度から 17 年度にかけて、約 10% 上昇したが、18 年度以降は法制化前とほぼ同様の患者数となっていた。極端に登録数の減少した自治体は認めなかった。対人口比において、全国平均の+1.5SD 以上(赤色)が続いているのは、香川県、佐賀県、宮崎県であった。法制化前後で、自治体毎に小児人口に占める割合に偏りは認められなかった。

II-E) 先天性副腎(皮質)過形成(E25.0) (表 II-E-1 および 2)

平成 16 年度から 17 年度にかけ、患者数の増加した自治体はなく、平成 18 年度以降も患者数の減少が続いている。また、平成 17 年度以降の対人口比では、富山県、滋賀県、徳島県における登録数の割合が多いが、登録実数自体は上昇しておらず、他の自治体における登録数の

減少による相対的な変化であった。

II-F) 21 水酸化酵素欠損症(E25.0A) (表 II-F-1 および 2)

平成 16 年度から 17 年度にかけ、多くの自治体で患者数が増加し、18 年度も緩やかな増加を認めた。高知県では、17 年度に患者数が増加したものの、その後、減少した。これは、後に述べる先天性副腎リポイド過形成症(E25.0B)の登録が、高知県では平成 19 年度以降増加したことと対比される。鳥取県、島根県、鹿児島県での小児人口に占める割合の増加が著しいが、これは後に述べる先天性副腎リポイド過形成症(E25.0B)の登録が、これらの県では認められないことと対比される。

II-G) 先天性副腎リポイド過形成症(E25.0B) (表 II-G-1 および 2)

平成 16 年度から 17 年度にかけ、多くの自治体で患者数が増加したが、以降はほぼ一定となっている。先天性副腎皮質過形成を来す疾患群のうち、24%を占める。しかし、平成 9 年度の「副腎ホルモン産生異常に関する調査研究班」全国疫学調査によれば、その割合は 5.5%である。従って、法制化後の登録数が真の先天性副腎リポイド過形成症を示しているのかは疑問のあるところであり、今後の検討課題である。

II-H) 思春期早発症(E22.8) (表 II-H-1 および 2)

平成 16 年度から 17 年度にかけて、多くの自治体で患者数が低下したが、この傾向は以後も続き、総登録数および新規患者数ともに減少し続けている。高知県、沖縄県は小児人口におけるその割合が高い。

II-I) 中枢性思春期早発症(E22.8A) (表 II-I-1 および 2)

平成 17 年度から登録病名となった疾患である。高知県、沖縄県の小児人口における割合は思春期早発症(E22.8)と同様に高い。

II-J) ターナー(Turner)症候群(Q96) (表 II-J-1 および 2)

登録患者数の推移に一定の傾向は認められず、大きな変化はなかった。高知県、宮崎県において登録数が多い傾向にあったが、その他の自治体毎に登録数の小児人口に占める割合に著しい偏りはなかった。

II-K) プラダー・ウィルリ (Prader-Willi) 症候群 (Q87.1A) (表 II-K-1 および 2)

登録患者数の推移に一定の傾向は認められず、大きな変化はなかった。秋田県、山形県、静岡県において登録数が多い傾向にあったが、その他の自治体毎著しい偏りはなかった。

3) 不適切と考えられる病名の登録状況

不適切病名として該当した疾患名およびそれに対する置き換えを希望する病名を表 3 に示す。これらの疾患名の ICD10 コードは、他の疾患名にも使用されている場合がある。このうち、置き換えを希望する疾患名が同一 ICD10 コードで存在した疾患は、真性思春期早発症(変更希望; 中枢性思春期早発症)であった。末端肥大症、粘液水腫に関しては、登録症例がいなかった。橋本病、慢性甲状腺炎に関しては ICD10 コードが同一であることから、データベースを利用する場合には現状でも大きな問題は生じないと思われる。一方で、データベースは簡潔である方が管理しやすく精度の向上につながると考えられるため、病名の統一が有用であると思われる。同様に、低ゴナドトロピン性類宦官症、クレチン症も同一 ICD10 コードで不適切病名に該当しない複数の病名が存在しているが、いずれも同様の病態を示しており、それぞれ、低ゴナドトロピン性性腺機能低下症、先天性甲状腺機能低下症(クレチン症)に統一して差し支えないものと思われた。睾丸機能低下症、高ゴナドトロピン性類宦官症、性腺性思春期遅発症(男)は同一 ICD10 コードで登録されていた。これらは同一病態でない場合もあり、疾患別のデータベース構築という観点からは、登録の見直しが必要であると思われる。同様に、偽性特発性副甲状腺機能低下症と同一 ICD10 コードに含まれる疾患には病態の異なる疾患も含まれていた。

4) 21OHD (E25.0A) の解析

H10年~21年度に登録された症例は2841例である。各年度間で同一症例も含まれるが、年齢は毎年増加するため、年齢別身長体重に関して、横断的解析が可能である。除外項目として性別不明36例、身長体重および年齢の記載が明らかに誤りと推測される7例を除いた。その結果、男子1320例、女子1478例が解析対象となった(図

3)。

I) 成人身長・体重の解析

18歳代症例の登録数は、男子61例、女子67例であった。このうち、身長体重について記載のある男子56例、女子59例をその解析に使用し、さらに、思春期開始年齢の記載のある男子5例、女子13例を身長と思春期開始年齢の解析に用いた(図4)。成人身長は男子 $161.1 \pm 6.8\text{cm}$ (-1.67SD)、女子 $153.3 \pm 5.7\text{cm}$ (-0.91SD)であり、女子の身長予後の方が良好であった(図5)。成人身長と思春期開始年齢との相関は認められなかった(図6)が、解析に十分な症例数が得られておらず、今後の検討課題である。BMIは男子 23.6 ± 4.0 、女子 23.0 ± 5.1 と標準BMI(男子20.8、女子20.6)より過体重であり、分布も大きいことが分かった。成人身長とBMIの関連を解析すると、男子($R=-0.241$, $P=0.073$)、女子($R=-0.169$, $P=0.201$)と有意差はないものの、男子で過体重となると低身長となる傾向があった(図7)。これには、ステロイドホルモン補充量との関連も示唆されるが、小慢データベースではステロイドホルモン補充量の記載がないため、今後の検討課題である。

II) 身長、体重に関する横断的解析

H10年度~H21年度の各登録症例のうち、生年月日未記入、測定年月日未記入あるいは誤記入、身長未記入および計測値の明らかな誤りと考えられる症例を除外し、そのうち平均身長データの存在する17歳6か月未満の症例を対象とした。その結果、のべ男子967例、女子982例が身長解析の対象となった。さらに、このうち体重計測値記載の誤りおよび未記入症例を除いた男子964例、女子978例がBMI解析の対象となった。

身長 SDS の推移を表 4 と図 9 に示す。男女とも、0 歳時には、正の値を示すが、1 歳で男子 $-1.31 \pm 1.96\text{SD}$ 、女子 $-1.49 \pm 1.15\text{SD}$ に大きく低下し、以後、正となることはなかった。男女で有意差が認められたのは、17 歳であり、男子 $-1.66 \pm 1.17\text{SD}$ 、女子 $-0.99 \pm 1.16\text{SD}$ ($P=0.003$)であった。

BMISDS の推移を表 4 と図 10 に示す。身長 SDS とは逆に、男女とも、0 歳時には負の値を示し、男子は 2 歳以降、女子は 1 歳以降に正の値を示していた。有意差が

認められたのは、12歳であり、男子 $0.65 \pm 0.98SD$ 、女子 $0.25 \pm 0.91SD$ ($P=0.03$)であった。

骨年齢－暦年齢の推移を表4と図11に示す。いずれの年齢も、測定されている症例数は3割弱以下であり、十分なデータとは言い難いものの、男子では、5～12歳にかけて骨年齢が暦年齢を上回っており、女子では6歳～11歳にかけて骨年齢が暦年齢を上回っていた。有意差が認められたのは、16歳時で男子 1.1 ± 1.9 歳、女子 1.9 ± 2.6 歳であった ($P=0.038$)。ただし、男女ともに症例数が十分でなく、今後十分な症例数での検討が必要であると思われた。

今回、男女とも成人身長が標準身長より低く、さらに男子は女子より有意に低いことが明らかとなった。男子では、乳児期に身長 SDS が低下した後、学童期には骨年齢の進行に伴い身長 SD の改善傾向となったが、最終的には1歳時の身長 SDS を下回った。一方、女子では、乳児期の身長 SDS 低下は男子と同様であるが、成人身長 SDS は乳児期のそれを上回っていた。従って、標準身長とならない共通した要因として、おそらくはステロイド過剰投与によると思われる乳児期の成長抑制が持続すること、また、思春期前の骨年齢促進の存在が示唆された。成人身長の性差については、思春期開始前後での骨年齢促進の程度に男女間で有意差はなく、早期骨端線閉鎖の影響は明らかではなかった。しかし、骨年齢の記載のある症例数が少なく、十分な症例数での検討が必要と思われた。一方、12歳時の BMISDS が男子では女子より有意に高く、成人身長 SDS の違いが肥満と関連する可能性が示唆された。この要因として、ステロイド過量があるかないかについては、今後の検討課題である。

Ⅲ) 思春期に関する横断的解析

H10年度～H21年度の各登録症例のうち、思春期開始年齢の記載のある症例は、重複例も除くと、男子64例、女子84例であった。女子において、Tanner stage Breast 2 (B2) 以上で記載のあった症例は、重複例も除くと249例であった。Tanner stage 重複例については、同一の stage が複数年にまたがっていた場合には、年齢が若い方を採用した。

思春期開始年齢の分布を図13に示す。男子では、5

歳～16歳までに分布し、平均 10.3 ± 2.6 歳であった。これは、日本人の標準11歳より早い傾向であった。女子では、1歳と2歳の症例が1例ずつ認められる他は、6～16歳に分布し平均 10.2 ± 2.6 歳であった。日本人の標準 9.5 ± 1.1 歳より遅い傾向にあり、バラツキも大きいことが分かった。

女子における Tanner stage B2 以上の、年齢を横軸とした累積頻度を図14に示す。B2となる平均年齢は 11.1 ± 2.3 歳であり、日本人標準の 9.5 ± 1.1 歳より遅かった。通常女子の思春期は B2 を開始とするが、今回の結果には申告された思春期開始年齢が B2 となった年齢より約1歳早かった。この理由として、2つの手続き上の要因が考えられる。Tanner stage は通常意見書記載時の状態が記載されるため、実際にその stage に到達した時よりも時間が経過している可能性が挙げられる。一方、思春期開始年齢は、月齢の記入欄がなく、実際の年齢より過小評価される可能性がある。従って、おそらく女子の 21OHD 症例の思春期開始年齢は 10～11 歳の間となることが予測される。男子の思春期開始年齢についても同様に、過小評価されている可能性があり、実際には、女子と同様 10～11 歳の間と推測され、日本人標準と大きな隔たりはないものと考えられた。

前述したように、成人身長 SDS は男子が有意に女子より小さかったが、その要因として思春期開始年齢の違いが関与する可能性がある。しかし、思春期開始前後での骨年齢促進の程度に男女間で有意差はなく、思春期開始年齢の違いが成人身長 SDS の違いの要因であるかは今後の検討が必要と思われた。

E. 研究発表

論文発表

なし

学会発表

なし

F. 知的所有権の取得状況

特許取得、実用新案登録、その他

なし

表 1-1 都道府県別登録患者数の推移

	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年
北海道	1,334	1,233	1,599	1,587	1,618	1,567	1,317	1,450	1,152	1,329	1,083*
青森県	334	325	319	315	312	53	224	192	301	293	256
岩手県	353	376	378	387	388	391	354	378	332	353	262
宮城県	857	739	883	1,217	806	861	808	859	800	737	753
秋田県	203	255	279	223	299	237	260	293	275	261	105*
山形県	265	315	307	325	319	307	328	329	311	289	301
福島県	484	486	527	541	523	547	555	516	519	557	461*
茨城県	542	481	554	371	286	268	74	256	214	274	308
栃木県	344	140	289	380	387	385	304	342	195	346	342
群馬県	38	248	300	332	275	72	387	385	391	408	398
埼玉県	293	1,404	1,429	1,371	1,331	1,219	1,404	1,503	1,468	1,428	1,409
千葉県	691	1,010	1,060	596	1,020	765	802	648	452	1,332	1,240
東京都	1,883	1,784	1,780	1,796	1,553	1,854	1,764	2,111	2,088	2,037	1,880
神奈川県	772	1,509	2,152	2,099	1,487	1,495	519*	1,214*	1,095*	1,103*	93*
新潟県	382	635	644	671	659	687	595	646	565	522	507
富山県	367	142	401	443	375	353	348	313	333	322	272
石川県	119	245	190	139	204	212	230	286	288	301	314
福井県	190	189	180	183	187	212	238	153	0*	262	249
山梨県	208	214	216	219	255	256	271	283	277	0*	0*
長野県	391	98	223	284	263	322	369	566	371	530	488
岐阜県	281	202	352	452	460	432	388	458	451	454	431
静岡県	1,188	643	1,212	1,167	896	1,277	633	1,488	1,227	950	229*
愛知県	889	2,193	2,067	2,109	1,954	2,039	1,990	1,858	1,688	1,666	1,632
三重県	376	195	501	477	546	532	38	251	493	449	514
滋賀県	477	490	474	481	514	524	495	519	449	284	0*
京都府	764	794	669	645	157	677	879	742	751	742	434*
大阪府	2,366	2,658	2,589	2,605	2,630	2,862	3,039	2,173	2,218	2,114	2,415
兵庫県	325	1,581	748	1,633	1,662	272	1,296	1,497	1,396	916*	878*
奈良県	416	470	411	454	489	516	544	515	501	528	139*
和歌山県	356	332	324	305	333	319	87*	320	221	234	92*
鳥取県	112	129	133	158	160	150	153	152	101	102	122
島根県	221	231	256	82	180	311	276	155	268	276	231
岡山県	527	571	624	676	757	767	789	834	826	744	640
広島県	926	1,228	1,247	1,245	1,418	1,164	1,249	1,259	1,024	956	940
山口県	370	406	364	445	477	524	423	649	550	345	556
徳島県	149	145	158	166	0	169	159	141	127	135	136
香川県	393	367	396	400	361	364	366	346	367	432	495
愛媛県	368	401	387	440	467	471	467	414	444	474	476
高知県	202	259	275	275	254	254	226	232	106*	273	244
福岡県	855	1,201	932	1,129	1,111	1,108	1,140	803	893	225*	227*
佐賀県	26	232	36	227	244	265	259	218	175	218	163
長崎県	470	481	490	439	479	503	164	266	475	395	489
熊本県	533	556	612	553	560	523	300	542	532	500	350*
大分県	294	304	339	320	312	181	198	168	331	340	336
宮崎県	410	397	339	379	350	366	363	383	418	409	250
鹿児島県	247	321	453	271	603	636	673	646	649	655	645
沖縄県	538	563	592	602	662	723	795	772	816	823	859
合計	24,129	29,178	30,690	31,614	30,583	29,992	28,540	30,524	28,924	28,323	24,644

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

* データ未着あり。

表1-2 都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(登録数/20歳未満人口 $\times 10^{-3}$)の推移

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	登録数	対人口比	登録数	対人口比	登録数	対人口比	登録数	対人口比	登録数	対人口比
北海道	1317	1.30	1450	1.43	1152	1.17	1329	1.39	1083	1.25
青森県	224	0.80	192	0.70	301	1.13	293	1.14	256	1.04
岩手県	354	1.30	378	1.44	332	1.30	353	1.42	262	1.09
宮城県	808	1.74	859	1.86	800	1.77	737	1.67	753	1.73
秋田県	260	1.29	293	1.48	275	1.43	261	1.41	105	1.31
山形県	328	1.40	329	1.43	311	1.38	289	1.32	301	1.43
福島県	555	1.27	516	1.22	519	1.24	557	1.36	461	1.44
茨城県	74	0.13	256	0.44	214	0.37	274	0.49	308	0.56
栃木県	304	0.76	342	0.87	195	0.50	346	0.90	342	0.90
群馬県	387	0.99	385	0.97	391	1.01	408	1.07	398	1.06
埼玉県	1404	1.03	1503	1.11	1468	1.09	1428	1.07	1409	1.06
千葉県	802	0.71	648	0.58	452	0.40	1332	1.20	1240	1.12
東京都	1764	0.82	2111	1.06	2088	1.03	2037	0.99	1880	0.90
神奈川県	519	0.47	1214	1.67	1095	1.01	1103	1.02	93	1.26
新潟県	595	1.31	646	1.42	565	1.27	522	1.20	507	1.20
富山県	348	1.72	313	1.56	333	1.67	322	1.64	272	1.42
石川県	230	1.00	286	1.25	288	1.28	301	1.36	314	1.44
福井県	238	1.43	153	0.94	0		262		249	1.57
山梨県	271	1.55	283	1.62	277	1.62	0		0	
長野県	369	0.87	566	1.34	371	0.89	530	1.30	488	1.22
岐阜県	388	0.93	458	1.10	451	1.09	454	1.12	431	1.09
静岡県	633	0.87	1488	2.05	1227	1.70	950	1.34	229	1.12
愛知県	1990	1.36	1858	1.28	1688	1.16	1666	1.15	1632	1.12
三重県	38	0.11	251	0.69	493	1.37	449	1.26	514	1.47
滋賀県	495	1.69	519	1.78	449	1.54	284	0.99	0	
京都府	879	1.78	742	1.52	751	1.56	742	1.56	434	1.72
大阪府	3039	1.79	2173	1.32	2218	1.35	2114	1.29	2415	1.48
兵庫県	1296	1.20	1497	1.38	1396	1.30	916	1.17	878	1.14
奈良県	544	2.01	515	1.86	501	1.85	528	2.00	139	1.99
和歌山県	87	1.20	320	1.64	221	1.15	234	1.24	92	1.31
鳥取県	153	1.29	152	1.30	101	0.88	102	0.92	122	1.15
島根県	276	2.03	155	1.12	268	1.99	276	2.12	231	1.82
岡山県	789	2.06	834	2.19	826	2.20	744	2.03	640	1.77
広島県	1249	2.26	1259	2.28	1024	1.87	956	1.77	940	1.77
山口県	423	1.55	649	2.41	550	2.07	345	1.34	556	2.22
徳島県	159	1.05	141	0.96	127	0.88	135	0.95	136	0.98
香川県	366	1.90	346	1.83	367	1.94	432	2.34	495	2.68
愛媛県	467	1.72	414	1.51	444	1.65	474	1.80	476	1.87
高知県	226	1.55	232	1.65	106	1.68	273	2.07	244	1.94
福岡県	1140	1.16	803	0.82	893	0.92	225	1.27	227	1.28
佐賀県	259	1.40	218	1.21	175	0.98	218	1.27	163	0.96
長崎県	164	0.55	266	0.90	475	1.65	395	1.43	489	1.84
熊本県	300	0.80	542	1.48	532	1.47	500	1.40	350	1.67
大分県	198	0.85	168	0.74	331	1.46	340	1.53	336	1.53
宮崎県	363	1.54	383	1.65	418	1.84	409	1.85	250	1.17
鹿児島県	673	1.87	646	1.84	649	1.88	655	1.94	645	1.95
沖縄県	795	2.32	772	2.24	816	2.39	823	2.46	859	2.63
合計	28384	1.21	30524	1.27	28924	1.21	28323	1.20	24644	1.06

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。
網掛けは、データ不足があることを示す。データ不足のある自治体の小児人口は除いている。

表2 上位 20 疾患の患者数、男女比、年齢、新規・継続数(平成17年度～20年度)

平成17年度		総患者数	男	女	性比	年齢	新規	転入	継続	再開	その他	%
1 E23.0E	成長ホルモン分泌不全性低身長症	12,135	7,864	4,045	1.94	10.7±3.3	1,819	62	10,095	140	19	39.9
2 E03.1A	先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)	6,075	2,674	3,262	0.82	7.6±5.2	686	82	5,183	85	39	20.0
3 E05.0	甲状腺機能亢進症	3,549	566	2,893	0.20	14.7±3.2	693	20	2,704	88	44	11.7
4 Q96	ターナー(Turner)症候群	1,153	10	1,108	0.01	12.1±4.1	132	7	991	16	7	3.8
5 E22.8	思春期早発症	1,032	145	869	0.17	9.8±2.6	228	11	773	18	2	3.4
6 E06.3	慢性甲状腺炎	1,006	97	887	0.11	13.9±3.3	156	6	814	10	20	3.3
7 E22.8A	中枢性思春期早発症	796	118	664	0.18	9.7±2.8	180	10	583	16	7	2.6
8 E25.0A	21水酸化酵素欠損症	564	264	290	0.91	9.6±5.5	40	14	495	7	8	1.9
9 E23.0A	下垂体機能低下(不全)症	497	282	200	1.41	12.0±4.6	57	3	428	7	2	1.6
10 Q87.1A	ブラーダー・ウィルリ(Prader-Willi)症候群	422	222	194	1.14	9.3±4.8	50	5	354	5	8	1.4
11 E23.2	下垂体性(真性)尿崩症	381	208	164	1.27	10.7±4.6	64	5	302	4	6	1.3
12 E25.0B	先天性副腎リポイド過形成	257	99	147	0.67	8.8±5.8	20	1	224	8	4	0.8
13 E20.0	特発性副甲状腺機能低下症	246	123	120	1.03	11.1±6.5	25	4	212	4	1	0.8
14 E23.0A	汎下垂体機能低下症	207	100	96	1.04	13.4±5.2	23	3	173	5	3	0.7
15 E03.9	甲状腺機能低下症	193	59	133	0.4	10.3±5.5	9	0	183	0	1	0.6
16 E20.1	仮性副甲状腺機能低下症	164	87	74	1.18	12.0±4.6	24	1	134	5	0	0.5
17 N25.1	腎性尿崩症(抗利尿ホルモン不応症)	159	132	22	6.00	8.9±5.1	24	1	131	3	0	0.5
18 E24.9B	周期性ACTH症候群	151	72	77	0.94	11.2±4.2	20	1	127	2	1	0.5
19 E25.0	先天性副腎(皮質)過形成	128	62	66	0.94	8.8±5.3	3	0	125	0	0	0.4
20 Q89.1	副腎形成不全	120	85	30	2.83	8.8±5.5	14	1	101	2	2	0.4
20位までの小計		29,235	13,269	15,341	0.86	10.7±4.6	4,267	237	24,132	425	174	96.1
総計		30,410	13,835	15,877	0.87	10.7±4.6	4,453	246	25,028	446	188	100
登録疾患数:85												
平成18年度		総患者数	男	女	性比	年齢	新規	転入	継続	再開	その他	%
1 E23.0E	成長ホルモン分泌不全性低身長症	11,406	7,440	3,844	1.94	10.8±3.3	1,566	115	9,616	81	28	39.5
2 E03.1A	先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)	6,016	2,635	3,287	0.80	8.1±5.2	625	77	5,218	48	48	20.8
3 E05.0	甲状腺機能亢進症	3,395	531	2,803	0.19	15.0±3.2	602	24	2,703	35	31	11.7
4 Q96	ターナー(Turner)症候群	1,127	7	1,102	0.01	12.3±4.2	122	6	981	8	10	3.9
5 E06.3	慢性甲状腺炎	993	107	867	0.12	14.2±3.4	153	7	821	6	6	3.4
6 E22.8A	中枢性思春期早発症	868	131	727	0.18	9.6±2.5	252	6	604	3	3	3.0
7 E22.8	思春期早発症	840	109	720	0.15	9.7±2.4	179	2	654	3	2	2.9
8 E25.0A	21水酸化酵素欠損症	689	324	356	0.91	9.8±5.5	35	4	641	4	5	1.9
9 Q87.1A	ブラーダー・ウィルリ(Prader-Willi)症候群	422	217	200	1.09	9.3±5.1	57	7	349	1	8	1.6
10 E23.2	下垂体性(真性)尿崩症	410	215	183	1.17	12.3±4.9	54	1	352	3	0	1.4
11 E23.0A	下垂体機能低下(不全)症	303	152	143	1.06	13.2±5.3	51	3	244	3	2	1.0
12 E25.0B	先天性副腎リポイド過形成	255	106	137	0.77	8.8±6.0	23	2	230	0	0	0.9
13 E20.0	特発性副甲状腺機能低下症	238	122	114	1.07	11.5±5.1	23	2	207	4	2	0.8
14 E23.0A	汎下垂体機能低下症	220	114	101	1.13	13.6±5.1	26	3	190	1	0	0.8
15 E20.1	仮性副甲状腺機能低下症	172	88	82	1.07	12.3±4.8	14	1	154	1	2	0.6
16 N25.1	腎性尿崩症(抗利尿ホルモン不応症)	139	118	19	6.21	9.1±5.3	8	1	130	0	0	0.5
17 E24.9B	周期性ACTH症候群	136	59	76	0.78	10.9±4.1	14	1	120	1	0	0.5
18 Q89.1	副腎形成不全	107	84	22	3.82	8.8±5.4	11	0	95	0	1	0.4
19 E28.3	原発性甲状腺機能低下症(女)	96	2	92	0.02	16.2±2.4	24	0	69	0	3	0.3
20 E25.0	先天性副腎(皮質)過形成	91	44	47	0.94	10.8±5.3	0	0	90	0	1	0.3
20位までの小計		27,923	12,605	14,922	0.84	10.9±4.6	3,839	262	23,468	202	152	96.6
総計		28,904	13,103	15,388	0.85	10.9±4.6	3,988	271	24,276	208	161	100
登録疾患数:88												

平成19年度

ICD	疾患名	総患者数	男	女	性比	年齢	新規	転入	継続	再開	その他	%
1 E23.0E	成長ホルモン分泌不全性低身長症	11,005	7,119	3,681	1.93	10.6±3.3	1,695	47	9,027	225	11	38.9
2 E03.1A	先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)	5,784	2,535	3,141	0.81	8.5±5.2	545	39	5,083	82	35	20.4
3 E05.0	甲状腺機能亢進症	3,374	565	2,725	0.21	15.0±3.4	640	17	2,625	77	15	11.9
4 Q96	ターナー(Turner)症候群	1,196	5	1,160	0.00	12.2±4.3	154	4	1,004	27	7	4.2
5 E06.3	慢性甲状腺炎	1,041	127	900	0.14	13.9±4.1	199	5	817	15	5	3.7
6 E22.8A	中枢性思春期早発症	969	145	810	0.18	9.7±2.4	256	3	696	12	2	3.4
7 E22.8	思春期早発症	791	101	677	0.15	9.8±2.5	182	2	586	15	6	2.8
8 E25.0A	21水酸化酵素欠損症	593	283	298	0.95	10.0±5.5	40	4	543	3	3	2.1
9 Q87.1A	ブラーダー・ウィリア(Prader-Willi)症候群	452	225	221	1.02	9.3±4.8	44	2	393	9	4	1.6
10 E23.2	下垂体性(真性)尿崩症	367	190	162	1.17	12.4±4.7	40	1	320	6	0	1.3
11 E23.0A	下垂体機能低下(不全)症	328	176	140	1.26	12.4±5.6	52	2	256	16	2	1.2
12 E25.0B	先天性副腎リポイド過形成	259	113	133	0.85	9.0±5.7	17	0	238	3	1	0.9
13 E20.0	特異性副甲状腺機能低下症	233	113	114	0.99	12.0±5.2	27	3	200	3	0	0.8
14 E23.0A	汎下垂体機能低下症	197	100	90	1.11	13.4±5.4	27	1	162	5	2	0.7
15 E20.1	仮性副甲状腺機能低下症	179	91	87	1.05	12.4±4.7	21	0	154	3	1	0.6
16 N25.1	腎性尿崩症(抗利尿ホルモン不応症)	137	123	12	10.25	9.5±5.3	10	0	120	6	1	0.5
17 E24.9B	周期性ACTH症候群	129	58	70	0.83	11.6±4.1	10	0	117	1	1	0.5
18 E28.3	原発性性腺機能低下症(女)	113	1	109	0.01	16.2±2.4	26	0	84	2	1	0.4
19 Q89.1	副腎形成不全	103	81	19	4.26	9.6±5.5	9	1	89	4	0	0.4
20 E29.1	原発性性腺機能低下症(男)	82	80	0	—	14.2±4.5	10	0	66	4	2	0.3
20位までの小計		27,332	12,231	14,549	0.84	10.9±4.6	4,004	131	22,580	518	99	96.6
総計		28,292	12,680	15,031	0.84	10.9±4.6	4,133	139	23,368	546	106	100

登録疾患数: 84

平成20年度

ICD	疾患名	総患者数	男	女	性比	年齢	新規	転入	継続	再開	その他	%
1 E23.0E	成長ホルモン分泌不全性低身長症	9,920	6,538	3,294	1.98	10.6±3.3	1,664	48	8,128	65	15	35.1
2 E03.1A	先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)	4,940	2,186	2,702	0.81	8.8±5.2	440	40	4,412	28	20	17.5
3 E05.0	甲状腺機能亢進症	2,952	495	2,417	0.20	15.1±3.4	552	15	2,341	29	15	10.4
4 Q96	ターナー(Turner)症候群	1,052	8	1,031	0.01	12.1±4.2	119	4	917	10	2	3.7
5 E22.8A	中枢性思春期早発症	959	133	817	0.16	9.7±2.3	264	8	676	8	3	3.4
6 E06.3	慢性甲状腺炎	871	108	760	0.14	14.1±3.4	138	4	717	6	6	3.1
7 E22.8	思春期早発症	625	72	546	0.13	9.7±2.3	162	4	454	4	1	2.2
8 E25.0A	21水酸化酵素欠損症	525	263	259	1.02	10.4±5.5	29	9	483	3	1	1.9
9 Q87.1A+	ブラーダー・ウィリア症候群	409	207	202	1.02	9.2±4.9	50	3	350	2	4	1.4
10 E23.0A	下垂体機能低下(不全)症	301	173	125	1.38	12.8±5.5	51	0	248	1	1	1.1
11 E23.2	下垂体性(真性)尿崩症	286	152	132	1.15	12.3±4.7	34	1	250	1	0	1.0
12 E25.0B	先天性副腎リポイド過形成	223	95	123	0.77	9.4±5.4	8	0	212	3	0	0.8
13 E20.0	特異性副甲状腺機能低下症	195	89	103	0.86	12.1±5.3	20	4	170	1	0	0.7
14 E23.0A	汎下垂体機能低下症	185	102	80	1.28	13.2±5.3	17	0	164	3	1	0.7
15 E20.1	仮性副甲状腺機能低下症	150	82	67	1.22	13.0±4.6	16	3	130	1	0	0.5
16 N25.1	腎性尿崩症(抗利尿ホルモン不応症)	107	96	10	9.60	9.9±5.2	7	1	97	0	2	0.4
17 E24.9B	周期性ACTH症候群	104	40	64	0.63	12.0±4.1	17	0	84	1	2	0.4
18 E28.3	原発性性腺機能低下症(女)	98	0	97	0.00	16.7±2.0	20	0	77	1	0	0.3
19 Q89.1	副腎形成不全	92	69	23	3.00	9.6±5.7	4	0	88	0	0	0.3
20 E16.2	特異性低血糖症	71	38	33	1.15	7.9±5.3	6	0	64	0	1	0.3
20位までの小計		24,065	10,946	12,885	0.85	11.0±4.5	3,618	144	20,062	167	74	97.0
総計		24,799	11,332	13,219	0.86	11.0±4.5	3,727	150	20,676	170	79	100

登録疾患数: 80

表Ⅱ-A-1 先天性甲状腺機能低下症(E03.1A)

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	247	38	353	28	265	15	301	31	264	31
青森県	43	3	56	4	61	6	55	3	52	8
岩手県	87	15	109	9	95	8	85	8	52	2
宮城県	152	27	176	25	191	19	173	7	192	11
秋田県	41	7	52	4	54	2	53	3	29	3
山形県	75	7	80	5	77	9	79	9	78	1
福島県	45	9	46	1	45	3	42	3	37	2
茨城県	16	13	70	4	62	5	80	3	72	9
栃木県	28	1	61	11	30	7	55	5	58	3
群馬県	42	1	56	3	65	8	64	6	71	6
埼玉県	153	18	305	19	288	22	271	20	269	19
千葉県	183	22	112	18	79	6	238	20	212	13
東京都	172	23	344	32	351	40	326	12	284	27
神奈川県	89	8	237	24	216	25	207	19	19	0
新潟県	176	19	226	19	199	5	183	4	175	4
富山県	52	5	54	34	54	5	51	4	39	2
石川県	34	5	69	32	74	15	85	13	83	8
福井県	26	0	47	8	0	0	52	2	58	0
山梨県	35	7	42	5	49	10	0	0	0	0
長野県	76	11	158	25	155	27	153	19	151	14
岐阜県	43	3	82	3	80	8	90	9	83	4
静岡県	68	17	294	18	200	23	219	30	61	13
愛知県	141	19	204	27	232	37	236	27	232	18
三重県	8	5	21	0	57	4	51	11	58	5
滋賀県	76	7	82	8	75	1	89	5	0	0
京都府	128	28	193	5	201	18	188	1	124	13
大阪府	386	78	352	30	397	47	350	32	377	32
兵庫県	176	22	262	25	238	19	131	11	101	11
奈良県	52	13	101	15	100	6	98	8	15	0
和歌山県	4	1	51	3	42	1	41	4	8	0
鳥取県	15	5	30	2	28	3	26	1	23	0
島根県	32	5	56	8	62	1	73	7	64	4
岡山県	70	8	115	8	112	5	101	5	81	1
広島県	212	32	184	23	198	13	199	19	190	22
山口県	31	6	105	10	83	7	56	4	80	5
徳島県	17	0	16	1	15	1	15	1	13	0
香川県	40	7	41	3	40	1	39	3	42	6
愛媛県	54	13	90	17	111	16	121	19	116	12
高知県	13	2	21	2	9	3	29	5	35	0
福岡県	248	25	287	60	312	29	45	5	43	1
佐賀県	69	9	43	3	47	5	46	3	49	6
長崎県	31	2	60	16	116	18	89	19	105	13
熊本県	55	12	135	16	138	9	135	6	92	10
大分県	66	17	69	10	101	8	98	16	89	7
宮崎県	52	3	68	14	72	6	81	12	51	5
鹿児島県	281	26	315	33	360	61	377	57	360	63
沖縄県	110	20	145	16	176	37	192	32	200	22
合計	4,250	624	6,075	686	6,012	624	5,768	543	4,887	436

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

網掛けは、データ不足があることを示す。

表Ⅱ-A-2 先天性甲状腺機能低下症(E03.1A)

(A1.009) 先天性甲状腺機能低下症 E03.1A

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口×10 ⁻³)の推移										
E03.1A 先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)										
	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	247	0.243	353	0.349	265	0.269	301	0.316	264	0.304
青森県	43	0.154	56	0.204	61	0.228	55	0.214	52	0.211
岩手県	87	0.320	109	0.416	95	0.371	85	0.341	52	0.217
宮城県	152	0.328	176	0.381	191	0.424	173	0.392	192	0.441
秋田県	41	0.204	52	0.263	54	0.281	53	0.286	29	0.500
山形県	75	0.321	80	0.348	77	0.342	79	0.361	78	0.370
福島県	45	0.103	46	0.109	45	0.108	42	0.103	37	0.116
茨城県	16	0.028	70	0.120	62	0.108	80	0.142	72	0.130
栃木県	28	0.070	61	0.156	30	0.077	55	0.144	58	0.153
群馬県	42	0.108	56	0.142	65	0.167	64	0.167	71	0.189
埼玉県	153	0.112	305	0.225	288	0.215	271	0.204	269	0.202
千葉県	183	0.162	112	0.100	79	0.071	238	0.214	212	0.191
東京都	172	0.080	344	0.173	351	0.174	326	0.159	284	0.135
神奈川県	89	0.081	237	0.327	216	0.198	207	0.191	19	0.257
新潟県	176	0.387	226	0.496	199	0.446	183	0.422	175	0.416
富山県	52	0.257	54	0.269	54	0.270	51	0.260	39	0.204
石川県	34	0.148	69	0.301	74	0.329	85	0.383	83	0.381
福井県	26	0.157	47	0.288	0		52	0.321	58	0.365
山梨県	35	0.200	42	0.240	49	0.287	0		0	
長野県	76	0.179	158	0.375	155	0.372	153	0.375	151	0.378
岐阜県	43	0.103	82	0.196	80	0.194	90	0.223	83	0.210
静岡県	68	0.094	294	0.405	200	0.278	219	0.308	61	0.298
愛知県	141	0.096	204	0.141	232	0.160	236	0.163	232	0.160
三重県	8	0.022	21	0.058	57	0.158	51	0.143	58	0.166
滋賀県	76	0.259	82	0.282	75	0.258	89	0.309	0	
京都府	128	0.259	193	0.395	201	0.417	188	0.395	124	0.492
大阪府	386	0.228	352	0.213	397	0.242	350	0.214	377	0.231
兵庫県	176	0.163	262	0.242	238	0.221	131	0.168	101	0.132
奈良県	52	0.193	101	0.365	100	0.369	98	0.371	15	0.214
和歌山県	4	0.057	51	0.262	42	0.218	41	0.218	8	0.114
鳥取県	15	0.126	30	0.256	28	0.243	26	0.234	23	0.217
島根県	32	0.235	56	0.403	62	0.459	73	0.562	64	0.504
岡山県	70	0.183	115	0.302	112	0.299	101	0.275	81	0.224
広島県	212	0.384	184	0.333	198	0.362	199	0.369	190	0.358
山口県	31	0.114	105	0.390	83	0.312	56	0.217	80	0.319
徳島県	17	0.112	16	0.109	15	0.103	15	0.106	13	0.094
香川県	40	0.207	41	0.217	40	0.212	39	0.211	42	0.227
愛媛県	54	0.199	90	0.328	111	0.413	121	0.460	116	0.457
高知県	13	0.089	21	0.149	9	0.143	29	0.220	35	0.278
福岡県	248	0.251	287	0.291	312	0.321	45	0.254	43	0.243
佐賀県	69	0.373	43	0.239	47	0.264	46	0.267	49	0.288
長崎県	31	0.104	60	0.203	116	0.403	89	0.321	105	0.395
熊本県	55	0.147	135	0.368	138	0.381	135	0.379	92	0.440
大分県	66	0.283	69	0.305	101	0.447	98	0.441	89	0.406
宮崎県	52	0.220	68	0.293	72	0.317	81	0.367	51	0.239
鹿児島県	281	0.781	315	0.895	360	1.043	377	1.115	360	1.091
沖縄県	110	0.321	145	0.420	176	0.516	192	0.575	200	0.612
合計	4,250	0.182	6,075	0.252	6,012	0.252	5,768	0.245	4,887	0.209

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
 赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。
 データ不足のある自治体の小児人口は除いている。

表Ⅱ-B-1 甲状腺機能低下症(E03.9)

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	42	6	5	0	0	0	0	0	0	0
青森県	18	3	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手県	16	3	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城県	23	11	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田県	13	2	3	0	0	0	0	0	0	0
山形県	16	7	0	0	0	0	0	0	0	0
福島県	14	5	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城県	9	8	1	0	0	0	0	0	5	0
栃木県	20	5	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	25	6	3	0	0	0	0	0	0	0
埼玉県	173	15	12	1	2	0	2	1	0	0
千葉県	43	5	0	0	0	0	0	0	0	0
東京都	118	10	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川県	32	5	7	0	4	0	0	0	0	0
新潟県	21	8	3	0	3	0	1	0	0	0
富山県	14	3	3	0	4	0	4	0	4	0
石川県	33	5	0	0	0	0	0	0	0	0
福井県	12	4	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	7	0	2	0	2	0	0	0	0	0
長野県	77	23	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県	19	7	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡県	24	10	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知県	99	18	20	1	9	0	9	0	5	0
三重県	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県	38	6	25	0	16	0	4	0	0	0
京都府	108	34	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	150	32	6	0	4	0	1	0	0	0
兵庫県	58	9	0	0	1	0	0	0	0	0
奈良県	52	18	1	1	0	0	0	0	0	0
和歌山県	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根県	36	6	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山県	44	11	0	0	0	0	0	0	0	0
広島県	79	14	66	4	15	0	4	0	3	0
山口県	18	4	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川県	16	3	0	0	2	0	1	0	3	0
愛媛県	62	3	0	0	0	0	0	0	0	0
高知県	19	1	13	2	6	0	6	0	0	0
福岡県	67	11	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀県	8	1	6	0	1	0	0	0	0	0
長崎県	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本県	33	10	17	0	13	0	0	0	0	0
大分県	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県	26	3	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	48	9	0	0	1	0	1	0	0	0
沖縄県	53	15	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,812	365	193	9	83	0	33	1	20	0

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

網掛けは、データ不足があることを示す。

表Ⅱ-B-2 甲状腺機能低下症(E03.9)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口×10⁻³)の推移
E03.9 甲状腺機能低下症

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	42	0.041	5	0.005	0	0.000	0	0.000	0	0.000
青森県	18	0.065	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
岩手県	16	0.059	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
宮城県	23	0.050	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
秋田県	13	0.065	3	0.015	0	0.000	0	0.000	0	0.000
山形県	16	0.068	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
福島県	14	0.032	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
茨城県	9	0.016	1	0.002	0	0.000	0	0.000	5	0.009
栃木県	20	0.050	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
群馬県	25	0.064	3	0.008	0	0.000	0	0.000	0	0.000
埼玉県	173	0.127	12	0.009	2	0.001	2	0.002	0	0.000
千葉県	43	0.038	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
東京都	118	0.055	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
神奈川県	32	0.029	7	0.010	4	0.004	0	0.000	0	0.000
新潟県	21	0.046	3	0.007	3	0.007	1	0.002	0	0.000
富山県	14	0.069	3	0.015	4	0.020	4	0.020	4	0.021
石川県	33	0.143	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
福井県	12	0.072	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
山梨県	7	0.040	2	0.011	2	0.012	0	0.000	0	0.000
長野県	77	0.181	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
岐阜県	19	0.046	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
静岡県	24	0.033	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
愛知県	99	0.068	20	0.014	9	0.006	9	0.006	5	0.003
三重県	1	0.003	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
滋賀県	38	0.130	25	0.086	16	0.055	4	0.014	0	0.000
京都府	108	0.219	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
大阪府	150	0.088	6	0.004	4	0.002	1	0.001	0	0.000
兵庫県	58	0.054	0	0.000	1	0.001	0	0.000	0	0.000
奈良県	52	0.193	1	0.004	0	0.000	0	0.000	0	0.000
和歌山県	6	0.086	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
鳥取県	8	0.067	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
島根県	36	0.265	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
岡山県	44	0.115	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
広島県	79	0.143	66	0.120	15	0.027	4	0.007	3	0.006
山口県	18	0.066	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
徳島県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
香川県	16	0.083	0	0.000	2	0.011	1	0.005	3	0.016
愛媛県	62	0.228	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
高知県	19	0.130	13	0.092	6	0.095	6	0.045	0	0.000
福岡県	67	0.068	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
佐賀県	8	0.043	6	0.033	1	0.006	0	0.000	0	0.000
長崎県	11	0.037	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
熊本県	33	0.088	17	0.046	13	0.036	0	0.000	0	0.000
大分県	3	0.013	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
宮崎県	26	0.110	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
鹿児島県	48	0.133	0	0.000	1	0.003	1	0.003	0	0.000
沖縄県	53	0.155	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
合計	1,812	0.077	193	0.008	83	0.003	33	0.001	20	0.001

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

データ不足のある自治体の小児人口は除いている。

表Ⅱ-C-1 慢性甲状腺炎(E06.3)

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	73	9	79	16	75	10	89	17	78	15
青森県	17	3	14	3	20	4	19	2	12	0
岩手県	11	0	19	4	11	2	19	6	13	5
宮城県	18	4	23	4	22	3	31	6	27	0
秋田県	11	2	14	0	13	1	15	5	7	0
山形県	7	3	9	1	11	2	13	2	12	1
福島県	30	4	20	1	18	2	16	2	10	2
茨城県	3	3	11	1	14	2	15	2	14	2
栃木県	6	3	11	1	2	1	10	1	10	0
群馬県	15	0	24	6	23	3	32	3	28	1
埼玉県	41	14	39	3	34	5	42	13	39	5
千葉県	41	9	32	5	22	3	49	7	54	9
東京都	71	23	50	2	44	10	44	6	41	5
神奈川県	24	5	45	3	37	5	39	7	1	0
新潟県	16	3	15	4	14	4	11	1	13	2
富山県	19	3	9	4	16	6	12	1	10	1
石川県	14	4	13	4	13	3	13	1	15	2
福井県	8	1	4	0	0	0	4	2	4	0
山梨県	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0
長野県	20	4	14	1	13	0	14	4	14	2
岐阜県	19	5	19	1	20	5	18	3	17	1
静岡県	16	8	34	6	30	2	30	8	6	1
愛知県	46	11	37	9	43	6	51	6	41	2
三重県	1	1	3	0	9	0	13	8	16	1
滋賀県	15	2	19	2	13	2	10	2	0	0
京都府	35	8	32	3	31	3	29	0	20	3
大阪府	158	38	78	13	81	14	77	18	84	19
兵庫県	51	15	50	8	45	2	29	4	21	5
奈良県	14	1	10	0	5	1	5	1	0	0
和歌山県	5	1	11	2	12	3	12	3	6	1
鳥取県	3	0	4	1	3	0	4	1	4	1
島根県	19	2	13	1	21	0	28	5	20	1
岡山県	10	2	21	1	21	1	16	2	17	4
広島県	39	4	23	4	25	5	26	10	21	5
山口県	1	0	10	0	12	0	5	0	7	1
徳島県	4	1	3	1	3	0	2	0	2	0
香川県	10	1	16	4	12	0	14	1	17	6
愛媛県	15	2	14	2	11	0	12	2	13	2
高知県	20	5	17	2	11	6	21	2	13	0
福岡県	37	6	39	10	48	9	16	1	13	1
佐賀県	5	0	10	2	13	2	14	3	11	1
長崎県	3	0	10	4	16	3	6	1	8	2
熊本県	14	5	17	3	14	3	24	5	12	1
大分県	9	5	9	4	18	3	20	8	16	2
宮崎県	11	2	19	2	21	3	22	4	13	4
鹿児島県	15	2	22	3	28	8	29	7	30	11
沖縄県	10	4	20	5	23	5	25	6	28	6
合計	1,031	228	1,006	156	993	153	1,041	199	858	133

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

網掛けは、データ不足があることを示す。

表Ⅱ-C-2 慢性甲状腺炎(E06.3)

(E.06.3) 慢性甲状腺炎 1-C-2.2

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口 $\times 10^{-3}$)の推移
E06.3 慢性甲状腺炎

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	73	0.072	79	0.078	75	0.076	89	0.093	78	0.090
青森県	17	0.061	14	0.051	20	0.075	19	0.074	12	0.049
岩手県	11	0.040	19	0.073	11	0.043	19	0.076	13	0.054
宮城県	18	0.039	23	0.050	22	0.049	31	0.070	27	0.062
秋田県	11	0.055	14	0.071	13	0.068	15	0.081	7	0.121
山形県	7	0.030	9	0.039	11	0.049	13	0.059	12	0.057
福島県	30	0.069	20	0.047	18	0.043	16	0.039	10	0.031
茨城県	3	0.005	11	0.019	14	0.024	15	0.027	14	0.025
栃木県	6	0.015	11	0.028	2	0.005	10	0.026	10	0.026
群馬県	15	0.038	24	0.061	23	0.059	32	0.084	28	0.075
埼玉県	41	0.030	39	0.029	34	0.025	42	0.032	39	0.029
千葉県	41	0.036	32	0.028	22	0.020	49	0.044	54	0.049
東京都	71	0.033	50	0.025	44	0.022	44	0.021	41	0.020
神奈川県	24	0.022	45	0.062	37	0.034	39	0.036	1	0.014
新潟県	16	0.035	15	0.033	14	0.031	11	0.025	13	0.031
富山県	19	0.094	9	0.045	16	0.080	12	0.061	10	0.052
石川県	14	0.061	13	0.057	13	0.058	13	0.059	15	0.069
福井県	8	0.048	4	0.025	0		4	0.025	4	0.025
山梨県	1	0.006	1	0.006	2	0.012	0		0	
長野県	20	0.047	14	0.033	13	0.031	14	0.034	14	0.035
岐阜県	19	0.046	19	0.045	20	0.049	18	0.045	17	0.043
静岡県	16	0.022	34	0.047	30	0.042	30	0.042	6	0.029
愛知県	46	0.031	37	0.026	43	0.030	51	0.035	41	0.028
三重県	1	0.003	3	0.008	9	0.025	13	0.037	16	0.046
滋賀県	15	0.051	19	0.065	13	0.045	10	0.035	0	
京都府	35	0.071	32	0.065	31	0.064	29	0.061	20	0.079
大阪府	158	0.093	78	0.047	81	0.049	77	0.047	84	0.051
兵庫県	51	0.047	50	0.046	45	0.042	25	0.032	21	0.027
奈良県	14	0.052	10	0.036	5	0.018	5	0.019	0	0.000
和歌山県	5	0.071	11	0.056	12	0.062	12	0.064	6	0.086
鳥取県	3	0.025	4	0.034	3	0.026	4	0.036	4	0.038
島根県	19	0.140	13	0.094	21	0.156	28	0.215	20	0.157
岡山県	10	0.026	21	0.055	21	0.056	16	0.044	17	0.047
広島県	39	0.071	23	0.042	25	0.046	26	0.048	21	0.040
山口県	1	0.004	10	0.037	12	0.045	5	0.019	7	0.028
徳島県	4	0.026	3	0.020	3	0.021	2	0.014	2	0.014
香川県	10	0.052	16	0.085	12	0.063	14	0.076	17	0.092
愛媛県	15	0.055	14	0.051	11	0.041	12	0.046	13	0.051
高知県	20	0.137	17	0.121	11	0.175	21	0.159	13	0.103
福岡県	37	0.037	39	0.040	48	0.049	16	0.090	13	0.073
佐賀県	5	0.027	10	0.056	13	0.073	14	0.081	11	0.065
長崎県	3	0.010	10	0.034	16	0.056	6	0.022	8	0.030
熊本県	14	0.037	17	0.046	14	0.039	24	0.067	12	0.057
大分県	9	0.039	9	0.040	18	0.080	20	0.090	16	0.073
宮崎県	11	0.047	19	0.082	21	0.093	22	0.100	13	0.061
鹿児島県	15	0.042	22	0.063	28	0.081	29	0.086	30	0.091
沖縄県	10	0.029	20	0.058	23	0.067	25	0.075	28	0.086
合計	1,031	0.044	1,006	0.042	993	0.042	1,041	0.044	858	0.037

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

データ不足のある自治体の小児人口は除いている。

表 II-D-1 甲状腺機能亢進症 (E05.0)

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	165	40	210	35	175	27	214	45	214	45
青森県	55	16	58	6	48	5	52	8	52	8
岩手県	40	10	54	9	48	10	58	18	58	18
宮城県	62	10	68	19	74	13	75	15	75	15
秋田県	30	8	37	2	41	8	39	8	39	8
山形県	28	7	27	4	30	5	24	2	24	2
福島県	55	11	64	11	62	13	59	5	59	5
茨城県	17	17	63	17	38	7	52	9	52	9
栃木県	21	8	41	12	21	9	43	7	43	7
群馬県	46	10	35	7	44	11	49	5	49	5
埼玉県	154	39	194	37	195	33	185	36	185	36
千葉県	99	20	70	23	46	14	147	27	147	27
東京都	178	46	258	59	235	45	228	21	228	21
神奈川県	59	14	142	23	110	16	115	23	115	23
新潟県	51	10	59	12	57	8	61	9	61	9
富山県	22	5	31	24	29	3	32	5	32	5
石川県	42	10	41	18	37	8	31	3	31	3
福井県	26	6	26	6	0	0	24	4	24	4
山梨県	16	3	15	0	18	6	0	0	0	0
長野県	48	8	47	6	46	10	46	7	46	7
岐阜県	37	17	51	7	59	13	61	11	61	11
静岡県	41	17	107	16	99	18	84	17	84	17
愛知県	127	31	151	35	146	21	149	17	149	17
三重県	3	3	20	0	44	9	40	9	40	9
滋賀県	50	13	55	6	45	2	49	8	49	8
京都府	120	31	89	4	35	0	54	0	54	0
大阪府	323	86	284	38	281	39	242	62	242	62
兵庫県	154	33	187	37	186	39	155	50	155	50
奈良県	48	17	43	4	43	10	26	3	26	3
和歌山県	19	5	51	11	34	5	36	9	36	9
鳥取県	19	6	17	1	17	3	16	3	16	3
島根県	27	4	24	0	29	2	28	4	28	4
岡山県	59	20	77	11	79	9	68	11	68	11
広島県	100	16	88	10	103	19	83	14	83	14
山口県	30	11	49	9	44	5	29	9	29	9
徳島県	31	4	34	6	30	5	34	8	34	8
香川県	39	8	15	1	21	3	21	1	21	1
愛媛県	50	11	50	10	49	10	54	11	54	11
高知県	31	9	38	8	11	2	34	4	34	4
福岡県	122	19	112	29	125	35	27	9	27	9
佐賀県	62	4	61	12	59	6	59	8	59	8
長崎県	12	3	41	14	75	14	57	16	57	16
熊本県	40	18	80	23	60	9	0	0	0	0
大分県	27	15	29	13	44	12	44	14	44	14
宮崎県	65	11	80	19	85	14	76	11	76	11
鹿児島県	102	20	95	15	86	18	77	26	77	26
沖縄県	47	10	53	17	60	11	63	15	63	15
合計	2,990	740	3,521	686	3,303	584	3,200	607	3,200	607

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

網掛けは、データ不足があることを示す。

表Ⅱ-D-2 甲状腺機能亢進症(E05.0)

(注) 20歳未満人口は推定人口

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口×10 ⁻³)の推移										
E05.0 甲状腺機能亢進症										
	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	新規	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	165	0.163	210	0.208	175	0.178	214	0.224	162	0.187
青森県	55	0.197	58	0.211	48	0.180	52	0.202	46	0.186
岩手県	40	0.147	54	0.206	48	0.188	58	0.233	44	0.183
宮城県	62	0.134	68	0.147	74	0.164	75	0.170	64	0.147
秋田県	30	0.149	37	0.187	41	0.214	39	0.211	14	0.241
山形県	28	0.120	27	0.117	30	0.133	24	0.110	22	0.104
福島県	55	0.126	64	0.151	62	0.149	59	0.144	52	0.163
茨城県	17	0.029	63	0.108	38	0.066	52	0.092	45	0.081
栃木県	21	0.053	41	0.105	21	0.054	43	0.112	45	0.119
群馬県	46	0.118	35	0.089	44	0.113	49	0.128	47	0.125
埼玉県	154	0.113	194	0.143	195	0.145	185	0.139	182	0.137
千葉県	99	0.087	70	0.062	46	0.041	147	0.132	137	0.123
東京都	178	0.082	258	0.130	235	0.116	228	0.111	195	0.093
神奈川県	59	0.054	142	0.196	110	0.101	115	0.106	9	0.122
新潟県	51	0.112	59	0.129	57	0.128	61	0.141	58	0.138
富山県	22	0.109	31	0.154	29	0.145	32	0.163	30	0.157
石川県	42	0.183	41	0.179	37	0.164	31	0.140	38	0.174
福井県	26	0.157	26	0.160	0		24	0.148	23	0.145
山梨県	16	0.091	15	0.086	18	0.105	0		0	
長野県	48	0.113	47	0.112	46	0.110	46	0.113	40	0.100
岐阜県	37	0.089	51	0.122	59	0.143	61	0.151	57	0.144
静岡県	41	0.056	107	0.147	99	0.138	84	0.118	17	0.083
愛知県	127	0.087	151	0.104	146	0.101	155	0.107	156	0.107
三重県	3	0.008	20	0.055	44	0.122	40	0.112	41	0.117
滋賀県	50	0.171	55	0.189	45	0.155	49	0.170	0	
京都府	120	0.243	89	0.182	76	0.158	85	0.179	36	0.143
大阪府	323	0.191	284	0.172	281	0.171	242	0.148	296	0.181
兵庫県	154	0.142	187	0.173	186	0.173	155	0.199	157	0.204
奈良県	48	0.178	43	0.155	43	0.159	37	0.140	11	0.157
和歌山県	10	0.143	51	0.262	34	0.176	36	0.191	9	0.129
鳥取県	19	0.160	17	0.145	17	0.148	16	0.144	18	0.170
島根県	27	0.199	24	0.173	29	0.215	28	0.215	21	0.165
岡山県	59	0.154	77	0.202	79	0.211	68	0.185	64	0.177
広島県	100	0.181	88	0.159	103	0.188	83	0.154	89	0.168
山口県	30	0.110	49	0.182	44	0.165	29	0.112	56	0.223
徳島県	31	0.204	34	0.231	30	0.207	34	0.239	32	0.230
香川県	39	0.202	42	0.222	47	0.249	54	0.292	71	0.384
愛媛県	50	0.184	50	0.182	49	0.182	54	0.205	53	0.209
高知県	31	0.212	38	0.270	11	0.175	34	0.258	27	0.214
福岡県	122	0.124	112	0.114	125	0.129	27	0.153	26	0.147
佐賀県	62	0.335	61	0.339	59	0.331	59	0.343	47	0.276
長崎県	12	0.040	41	0.139	75	0.260	57	0.206	78	0.293
熊本県	40	0.107	80	0.218	85	0.235	93	0.261	65	0.311
大分県	27	0.116	29	0.128	44	0.195	44	0.198	58	0.265
宮崎県	65	0.275	80	0.345	85	0.374	76	0.344	54	0.254
鹿児島県	102	0.283	95	0.270	86	0.249	77	0.228	66	0.200
沖縄県	47	0.137	53	0.154	60	0.176	63	0.189	62	0.190
合計	2,990	0.128	3,548	0.147	3,395	0.142	3,374	0.143	2,920	0.125

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

データ不足のある自治体の小児人口は除いている。

表Ⅱ-E-1 先天性副腎(皮質)過形成(E25.0)

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	26	3	5	0	0	0	0	0	0	0
青森県	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手県	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城県	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田県	8	2	4	0	0	0	0	0	0	0
山形県	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0
福島県	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城県	5	3	0	0	1	0	0	0	1	0
栃木県	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	15	2	1	0	0	0	0	0	0	0
埼玉県	60	5	11	0	7	0	3	0	4	0
千葉県	31	2	0	0	0	0	0	0	0	0
東京都	56	2	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川県	15	0	13	0	9	0	1	0	0	0
新潟県	20	0	1	0	1	0	0	0	0	0
富山県	13	1	6	0	6	0	6	0	6	0
石川県	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井県	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	8	1	8	0	8	0	0	0	0	0
長野県	11	3	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡県	20	2	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知県	34	4	6	0	5	0	6	0	1	0
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県	13	0	12	0	11	0	7	0	0	0
京都府	28	6	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	80	7	14	0	12	0	0	0	0	0
兵庫県	35	2	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県	15	3	1	0	1	0	3	2	1	0
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根県	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山県	13	1	3	0	3	0	2	0	0	0
広島県	29	1	23	1	10	0	5	0	4	0
山口県	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島県	11	0	10	0	10	0	8	0	9	0
香川県	7	0	1	0	0	0	0	0	6	0
愛媛県	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高知県	9	1	5	2	4	0	2	0	0	0
福岡県	56	1	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀県	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本県	8	1	3	0	2	0	0	0	0	0
大分県	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	17	3	0	0	1	0	1	0	0	0
沖縄県	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	825	73	128	3	91	0	44	2	32	0

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

網掛けは、データ不足があることを示す。

表Ⅱ-E-2 先天性副腎(皮質)過形成(E25.0)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口×10 ⁻³)の推移										
E25.0 先天性副腎(皮質)過形成										
	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	26	0.026	5	0.005	0	0.000	0	0.000	0	0.000
青森県	10	0.036	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
岩手県	8	0.029	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
宮城県	16	0.034	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
秋田県	8	0.040	4	0.020	0	0.000	0	0.000	0	0.000
山形県	10	0.043	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
福島県	16	0.037	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
茨城県	5	0.009	0	0.000	1	0.002	0	0.000	1	0.002
栃木県	6	0.015	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
群馬県	15	0.038	1	0.003	0	0.000	0	0.000	0	0.000
埼玉県	60	0.044	11	0.008	7	0.005	3	0.002	4	0.003
千葉県	31	0.027	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
東京都	56	0.026	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
神奈川県	15	0.014	13	0.018	9	0.008	1	0.001	0	0.000
新潟県	20	0.044	1	0.002	1	0.002	0	0.000	0	0.000
富山県	13	0.064	6	0.030	6	0.030	6	0.031	6	0.031
石川県	12	0.052	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
福井県	6	0.036	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
山梨県	8	0.046	8	0.046	8	0.047	0		0	
長野県	11	0.026	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
岐阜県	11	0.026	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
静岡県	20	0.028	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
愛知県	34	0.023	6	0.004	5	0.003	6	0.004	1	0.001
三重県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
滋賀県	13	0.044	12	0.041	11	0.038	7	0.024	0	
京都府	28	0.057	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
大阪府	80	0.047	14	0.008	12	0.007	0	0.000	0	0.000
兵庫県	35	0.032	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
奈良県	15	0.056	1	0.004	1	0.004	3	0.011	1	0.014
和歌山県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
鳥取県	7	0.059	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
島根県	13	0.096	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
岡山県	13	0.034	3	0.008	3	0.008	2	0.005	0	0.000
広島県	29	0.053	23	0.042	10	0.018	5	0.009	4	0.008
山口県	11	0.040	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
徳島県	11	0.072	10	0.068	10	0.069	8	0.056	9	0.065
香川県	7	0.036	1	0.005	0	0.000	0	0.000	6	0.032
愛媛県	17	0.063	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
高知県	9	0.062	5	0.035	4	0.063	2	0.015	0	0.000
福岡県	56	0.057	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
佐賀県	3	0.016	1	0.006	0	0.000	0	0.000	0	0.000
長崎県	4	0.013	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
熊本県	8	0.021	3	0.008	2	0.006	0	0.000	0	0.000
大分県	8	0.034	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
宮崎県	13	0.055	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
鹿児島県	17	0.047	0	0.000	1	0.003	1	0.003	0	0.000
沖縄県	11	0.032	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
合計	825	0.035	128	0.005	91	0.004	44	0.002	32	0.001

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

データ不足のある自治体の小児人口は除いている。

表Ⅱ-F-1 21 水酸化酵素欠損症 (E25.0A)

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	13	0	26	2	33	0	40	1	34	2
青森県	2	0	11	1	7	0	11	1	5	0
岩手県	2	1	7	1	5	0	8	0	5	0
宮城県	0	0	14	0	16	1	17	2	17	0
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	0	0	10	0	12	2	12	0	12	0
福島県	0	0	5	1	5	0	1	0	2	0
茨城県	0	0	3	0	5	0	13	1	8	3
栃木県	0	0	2	0	2	1	5	0	4	0
群馬県	0	0	14	1	15	1	7	1	5	0
埼玉県	0	0	24	1	14	0	16	0	14	1
千葉県	0	0	0	0	9	0	18	0	14	0
東京都	1	1	73	1	71	3	18	0	52	3
神奈川県	0	0	13	1	33	2	39	4	3	0
新潟県	1	0	14	1	13	1	14	0	14	2
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	1	0	5	4	7	1	7	1	6	0
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	2	0	3	0	2	0	0	0	0	0
長野県	4	0	6	0	6	0	5	0	6	0
岐阜県	0	0	19	2	17	0	16	1	10	0
静岡県	0	0	31	3	26	1	23	3	7	1
愛知県	9	0	13	1	10	0	14	1	17	0
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県	0	0	5	1	5	0	10	0	0	0
京都府	2	1	4	1	13	0	13	0	17	2
大阪府	3	0	48	0	55	7	49	5	55	4
兵庫県	1	0	42	4	46	1	37	3	30	1
奈良県	3	0	3	0	19	1	9	1	2	0
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	0	0	5	1	9	0	10	1	9	0
島根県	1	0	1	0	16	0	17	1	12	1
岡山県	0	0	9	0	21	1	14	3	12	0
広島県	0	0	14	2	21	2	25	3	27	2
山口県	0	0	7	0	15	0	14	0	16	0
徳島県	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
香川県	0	0	5	0	7	0	7	0	8	0
愛媛県	0	0	9	0	12	3	10	0	11	0
高知県	1	0	10	0	0	0	3	0	7	0
福岡県	2	0	26	6	46	0	3	0	5	0
佐賀県	2	1	2	0	4	1	4	0	3	0
長崎県	0	0	5	0	5	0	0	0	13	1
熊本県	3	1	15	1	17	1	12	0	1	0
大分県	0	0	8	0	16	0	16	0	12	0
宮崎県	0	0	9	1	8	0	12	3	8	1
鹿児島県	13	2	33	3	36	5	33	1	27	5
沖縄県	0	0	10	0	9	0	11	3	12	0
合計	66	7	564	40	689	35	593	40	522	29

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

網掛けは、データ不足があることを示す。

表Ⅱ-F-2 21 水酸化酵素欠損症 (E25.0A)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口×10 ⁻³)の推移										
E25.0A 21水酸化酵素欠損症										
	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	13	0.013	26	0.026	33	0.034	40	0.042	34	0.039
青森県	2	0.007	11	0.040	7	0.026	11	0.043	5	0.020
岩手県	2	0.007	7	0.027	5	0.020	8	0.032	5	0.021
宮城県	0	0.000	14	0.030	16	0.035	17	0.039	17	0.039
秋田県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
山形県	0	0.000	10	0.043	12	0.053	12	0.055	12	0.057
福島県	0	0.000	5	0.012	5	0.012	1	0.002	2	0.006
茨城県	0	0.000	3	0.005	5	0.009	13	0.023	8	0.014
栃木県	0	0.000	2	0.005	2	0.005	5	0.013	4	0.011
群馬県	0	0.000	14	0.035	15	0.039	7	0.018	5	0.013
埼玉県	0	0.000	24	0.018	14	0.010	16	0.012	14	0.011
千葉県	0	0.000	0	0.000	9	0.008	18	0.016	14	0.013
東京都	1	0.000	73	0.037	71	0.035	18	0.009	52	0.025
神奈川県	0	0.000	13	0.018	33	0.030	39	0.036	3	0.041
新潟県	1	0.002	14	0.031	13	0.029	14	0.032	14	0.033
富山県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
石川県	1	0.004	5	0.022	7	0.031	7	0.032	6	0.028
福井県	0	0.000	0	0.000	0		0	0.000	0	0.000
山梨県	2	0.011	3	0.017	2	0.012	0		0	
長野県	4	0.009	6	0.014	6	0.014	5	0.012	6	0.015
岐阜県	0	0.000	19	0.045	17	0.041	16	0.040	10	0.025
静岡県	0	0.000	31	0.043	26	0.036	23	0.032	7	0.034
愛知県	9	0.006	13	0.009	10	0.007	14	0.010	17	0.012
三重県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
滋賀県	0	0.000	5	0.017	5	0.017	10	0.035	0	
京都府	2	0.004	4	0.008	13	0.027	13	0.027	17	0.067
大阪府	3	0.002	48	0.029	55	0.033	49	0.030	55	0.034
兵庫県	1	0.001	42	0.039	46	0.043	37	0.047	30	0.039
奈良県	3	0.011	3	0.011	19	0.070	9	0.034	2	0.029
和歌山県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
鳥取県	0	0.000	5	0.043	9	0.078	10	0.090	9	0.085
島根県	1	0.007	1	0.007	16	0.119	17	0.131	12	0.094
岡山県	0	0.000	9	0.024	21	0.056	14	0.038	12	0.033
広島県	0	0.000	14	0.025	21	0.038	25	0.046	27	0.051
山口県	0	0.000	7	0.026	15	0.056	14	0.054	16	0.064
徳島県	0	0.000	1	0.007	1	0.007	0	0.000	0	0.000
香川県	0	0.000	5	0.026	7	0.037	7	0.038	8	0.043
愛媛県	0	0.000	9	0.033	12	0.045	10	0.038	11	0.043
高知県	1	0.007	10	0.071	0	0.000	3	0.023	7	0.056
福岡県	2	0.002	26	0.026	46	0.047	3	0.017	5	0.028
佐賀県	2	0.011	2	0.011	4	0.022	4	0.023	3	0.018
長崎県	0	0.000	5	0.017	5	0.017	0	0.000	13	0.049
熊本県	3	0.008	15	0.041	17	0.047	12	0.034	1	0.005
大分県	0	0.000	8	0.035	16	0.071	16	0.072	12	0.055
宮崎県	0	0.000	9	0.039	8	0.035	12	0.054	8	0.038
鹿児島県	13	0.036	33	0.094	36	0.104	33	0.098	27	0.082
沖縄県	0	0.000	10	0.029	9	0.026	11	0.033	12	0.037
合計	66	0.003	564	0.023	689	0.029	593	0.025	522	0.022

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
 赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。
 データ不足のある自治体の小児人口は除いている。

表Ⅱ-G-1 先天性副腎リポイド過形成症(E25.0B)

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	2	0	7	1	4	0	2	0	2	0
青森県	0	0	0	0	3	1	1	0	7	0
岩手県	0	0	5	0	4	0	2	0	1	0
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田県	0	0	1	0	5	1	5	0	0	0
山形県	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
福島県	3	2	6	2	5	0	4	0	1	0
茨城県	0	0	14	1	13	0	4	0	9	1
栃木県	0	0	2	0	8	2	5	0	6	0
群馬県	1	0	1	0	1	0	11	0	14	0
埼玉県	2	0	29	2	38	4	33	0	30	1
千葉県	4	0	9	0	5	0	6	0	6	0
東京都	3	0	2	0	2	1	7	2	4	0
神奈川県	0	0	3	0	2	0	3	1	1	0
新潟県	0	0	12	1	15	3	15	1	14	0
富山県	0	0	7	5	7	0	5	0	2	0
石川県	0	0	7	1	6	0	7	1	7	0
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	1	0	10	2	10	0	9	1	10	0
岐阜県	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0
静岡県	0	0	1	0	2	0	3	1	1	0
愛知県	1	0	27	2	28	4	28	2	32	2
三重県	0	0	3	0	9	0	7	1	7	0
滋賀県	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
京都府	0	0	8	0	8	1	13	0	1	0
大阪府	3	3	14	0	14	2	23	5	21	2
兵庫県	2	0	8	0	9	0	1	0	3	1
奈良県	0	0	9	2	0	0	10	0	3	0
和歌山県	0	0	2	0	2	0	2	0	1	0
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根県	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0
岡山県	0	0	11	0	0	0	1	0	3	0
広島県	1	0	2	0	2	0	1	0	1	0
山口県	1	0	19	0	6	3	1	0	2	0
徳島県	1	1	2	1	2	0	1	0	2	0
香川県	2	1	7	0	6	0	5	0	3	0
愛媛県	1	0	6	0	5	0	6	0	5	0
高知県	0	0	0	0	0	0	11	0	6	0
福岡県	1	0	2	0	11	1	5	0	1	0
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	0	0	2	0	10	0	7	0	2	0
熊本県	0	0	4	0	6	0	9	0	10	0
大分県	0	0	1	0	2	0	4	2	2	0
宮崎県	0	0	3	0	3	0	1	0	0	0
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖縄県	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	30	7	257	20	255	23	259	17	223	8

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

網掛けは、データ不足があることを示す。

表Ⅱ-G-2 先天性副腎リポイド過形成症 (E25.0B)

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	2	0.002	7	0.007	4	0.004	2	0.002	2	0.002
青森県	0	0.000	0	0.000	3	0.011	1	0.004	7	0.028
岩手県	0	0.000	5	0.019	4	0.016	2	0.008	1	0.004
宮城県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
秋田県	0	0.000	1	0.005	5	0.026	5	0.027	0	0.000
山形県	0	0.000	1	0.004	0	0.000	0	0.000	0	0.000
福島県	3	0.007	6	0.014	5	0.012	4	0.010	1	0.003
茨城県	0	0.000	14	0.024	13	0.023	4	0.007	9	0.016
栃木県	0	0.000	2	0.005	8	0.021	5	0.013	6	0.016
群馬県	1	0.003	1	0.003	1	0.003	11	0.029	14	0.037
埼玉県	2	0.001	29	0.021	38	0.028	33	0.025	30	0.023
千葉県	4	0.004	9	0.008	5	0.004	6	0.005	6	0.005
東京都	3	0.001	2	0.001	2	0.001	7	0.003	4	0.002
神奈川県	0	0.000	3	0.004	2	0.002	3	0.003	1	0.014
新潟県	0	0.000	12	0.026	15	0.034	15	0.035	14	0.033
富山県	0	0.000	7	0.035	7	0.035	5	0.026	2	0.010
石川県	0	0.000	7	0.031	6	0.027	7	0.032	7	0.032
福井県	0	0.000	0	0.000	0		0	0.000	0	0.000
山梨県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0		0	
長野県	1	0.002	10	0.024	10	0.024	9	0.022	10	0.025
岐阜県	0	0.000	1	0.002	1	0.002	1	0.002	2	0.005
静岡県	0	0.000	1	0.001	2	0.003	3	0.004	1	0.005
愛知県	1	0.001	27	0.019	28	0.019	28	0.019	32	0.022
三重県	0	0.000	3	0.008	9	0.025	7	0.020	7	0.020
滋賀県	0	0.000	1	0.003	1	0.003	0	0.000	0	
京都府	0	0.000	8	0.016	8	0.017	13	0.027	1	0.004
大阪府	3	0.002	14	0.008	14	0.009	23	0.014	21	0.013
兵庫県	2	0.002	8	0.007	9	0.008	1	0.001	3	0.004
奈良県	0	0.000	9	0.032	0	0.000	10	0.038	3	0.043
和歌山県	0	0.000	2	0.010	2	0.010	2	0.011	1	0.014
鳥取県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
島根県	0	0.000	8	0.058	0	0.000	0	0.000	0	0.000
岡山県	0	0.000	11	0.029	0	0.000	1	0.003	3	0.008
広島県	1	0.002	2	0.004	2	0.004	1	0.002	1	0.002
山口県	1	0.004	19	0.071	6	0.023	1	0.004	2	0.008
徳島県	1	0.007	2	0.014	2	0.014	1	0.007	2	0.014
香川県	2	0.010	7	0.037	6	0.032	5	0.027	3	0.016
愛媛県	1	0.004	6	0.022	5	0.019	6	0.023	5	0.020
高知県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	11	0.083	6	0.048
福岡県	1	0.001	2	0.002	11	0.011	5	0.028	1	0.006
佐賀県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
長崎県	0	0.000	2	0.007	10	0.035	7	0.025	2	0.008
熊本県	0	0.000	4	0.011	6	0.017	9	0.025	10	0.048
大分県	0	0.000	1	0.004	2	0.009	4	0.018	2	0.009
宮崎県	0	0.000	3	0.013	3	0.013	1	0.005	0	0.000
鹿児島県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
沖縄県	1	0.003	0	0.000	0	0.000	0	0.000	1	0.003
合計	30	0.001	257	0.011	255	0.011	259	0.011	223	0.010

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

データ不足のある自治体の小児人口は除いている。

表Ⅱ-H-1 思春期早発症 (E22.8)

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	111	24	50	8	38	5	51	15	49	20
青森県	16	3	7	1	9	2	5	1	3	0
岩手県	19	2	7	1	4	0	3	0	4	2
宮城県	79	25	34	5	21	2	19	2	15	4
秋田県	13	3	12	0	6	0	5	1	1	0
山形県	30	7	7	1	7	1	6	0	4	1
福島県	45	14	33	10	30	6	25	3	19	4
茨城県	7	6	20	4	25	14	31	5	34	13
栃木県	34	7	31	8	14	5	28	6	25	2
群馬県	37	9	11	3	10	2	12	2	7	0
埼玉県	121	23	43	15	45	18	36	10	26	3
千葉県	65	12	18	4	8	0	30	4	29	4
東京都	153	35	96	22	85	13	63	9	43	10
神奈川県	50	16	55	5	51	13	42	9	1	0
新潟県	31	3	15	0	6	1	7	3	7	2
富山県	16	3	12	8	10	1	12	3	11	4
石川県	21	1	15	7	14	5	12	1	9	0
福井県	20	7	14	4	0	0	15	4	10	0
山梨県	34	9	20	7	12	1	0	0	0	0
長野県	34	8	14	3	12	4	11	3	5	2
岐阜県	15	2	4	0	4	1	2	0	2	0
静岡県	49	21	58	14	40	5	42	9	5	1
愛知県	116	21	34	11	22	9	22	7	23	4
三重県	0	0	2	0	2	1	4	2	4	2
滋賀県	31	9	27	3	18	0	5	0	0	0
京都府	37	8	13	1	11	3	8	0	4	1
大阪府	180	56	44	7	29	4	29	12	29	12
兵庫県	68	14	37	2	28	4	11	3	10	1
奈良県	22	8	10	1	12	4	7	1	4	3
和歌山県	8	4	3	0	2	1	1	1	0	0
鳥取県	18	1	17	2	10	1	6	1	5	0
島根県	27	3	12	4	12	1	10	1	9	3
岡山県	34	7	24	7	15	1	25	5	21	6
広島県	96	18	74	9	39	7	35	16	36	16
山口県	12	5	28	10	18	1	13	2	20	1
徳島県	11	1	7	3	4	0	5	1	3	1
香川県	20	3	9	2	13	6	17	4	13	1
愛媛県	13	0	2	2	3	1	3	1	5	3
高知県	20	2	14	3	4	1	20	7	14	1
福岡県	48	9	28	6	26	7	5	3	5	4
佐賀県	9	1	5	1	4	0	6	2	5	2
長崎県	20	6	18	7	25	3	20	3	11	1
熊本県	12	4	9	2	10	2	9	1	7	5
大分県	0	0	4	2	8	4	9	1	12	4
宮崎県	16	3	8	1	9	1	9	2	6	1
鹿児島県	15	3	5	1	6	4	5	1	4	0
沖縄県	104	25	45	14	50	12	48	15	48	14
合計	1,937	451	1055	231	831	177	789	182	607	158

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
 平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。
 網掛けは、データ不足があることを示す。

表Ⅱ-H-2 思春期早発症(E22.8)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口×10 ⁻³)の推移										
E22.8 思春期早発症										
	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	新規	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	111	0.109	50	0.049	38	0.039	51	0.053	49	0.057
青森県	16	0.057	7	0.025	9	0.034	5	0.019	3	0.012
岩手県	19	0.070	7	0.027	4	0.016	3	0.012	4	0.017
宮城県	79	0.170	34	0.074	21	0.047	19	0.043	15	0.034
秋田県	13	0.065	12	0.061	6	0.031	5	0.027	1	0.017
山形県	30	0.128	7	0.030	7	0.031	6	0.027	4	0.019
福島県	45	0.103	33	0.078	30	0.072	25	0.061	19	0.059
茨城県	7	0.012	20	0.034	25	0.043	31	0.055	34	0.061
栃木県	34	0.085	31	0.079	14	0.036	28	0.073	25	0.066
群馬県	37	0.095	11	0.028	10	0.026	12	0.031	7	0.019
埼玉県	121	0.089	43	0.032	45	0.034	36	0.027	26	0.020
千葉県	65	0.057	18	0.016	8	0.007	30	0.027	29	0.026
東京都	153	0.071	96	0.048	85	0.042	63	0.031	43	0.021
神奈川県	50	0.046	55	0.076	51	0.047	42	0.039	1	0.014
新潟県	31	0.068	15	0.033	6	0.013	7	0.016	7	0.017
富山県	16	0.079	12	0.060	10	0.050	12	0.061	11	0.058
石川県	21	0.091	15	0.066	14	0.062	12	0.054	9	0.041
福井県	20	0.120	14	0.086	0		15	0.093	10	0.063
山梨県	34	0.194	20	0.114	12	0.070	0		0	
長野県	34	0.080	14	0.033	12	0.029	11	0.027	5	0.013
岐阜県	15	0.036	4	0.010	4	0.010	2	0.005	2	0.005
静岡県	49	0.067	58	0.080	40	0.056	42	0.059	5	0.024
愛知県	116	0.079	34	0.023	22	0.015	22	0.015	23	0.016
三重県	0	0.000	2	0.005	2	0.006	4	0.011	4	0.011
滋賀県	31	0.106	27	0.093	18	0.062	5	0.017	0	
京都府	37	0.075	13	0.027	11	0.023	8	0.017	4	0.016
大阪府	180	0.106	44	0.027	29	0.018	29	0.018	29	0.018
兵庫県	68	0.063	37	0.034	28	0.026	11	0.014	10	0.013
奈良県	22	0.081	10	0.036	12	0.044	7	0.027	4	0.057
和歌山県	8	0.114	3	0.015	2	0.010	1	0.005	0	0.000
鳥取県	18	0.151	17	0.145	10	0.087	6	0.054	5	0.047
島根県	27	0.199	12	0.086	12	0.089	10	0.077	9	0.071
岡山県	34	0.089	24	0.063	15	0.040	25	0.068	21	0.058
広島県	96	0.174	74	0.134	39	0.071	35	0.065	36	0.068
山口県	12	0.044	28	0.104	18	0.068	13	0.050	20	0.080
徳島県	11	0.072	7	0.048	4	0.028	5	0.035	3	0.022
香川県	20	0.104	9	0.048	13	0.069	17	0.092	13	0.070
愛媛県	13	0.048	2	0.007	3	0.011	3	0.011	5	0.020
高知県	20	0.137	14	0.099	4	0.063	20	0.152	14	0.111
福岡県	48	0.049	28	0.028	26	0.027	5	0.028	5	0.028
佐賀県	9	0.049	5	0.028	4	0.022	6	0.035	5	0.029
長崎県	20	0.067	18	0.061	25	0.087	20	0.072	11	0.041
熊本県	12	0.032	9	0.025	10	0.028	9	0.025	7	0.033
大分県	0	0.000	4	0.018	8	0.035	9	0.041	12	0.055
宮崎県	16	0.068	8	0.034	9	0.040	9	0.041	6	0.028
鹿児島県	15	0.042	5	0.014	6	0.017	5	0.015	4	0.012
沖縄県	104	0.303	45	0.130	50	0.147	48	0.144	48	0.147
合計	1,937	0.083	1,055	0.044	831	0.035	789	0.033	607	0.026

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

データ不足のある自治体の小児人口は除いている。

表Ⅱ-I-1 中枢性思春期早発症(E22.8A)

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	0	0	32	13	27	3	39	17	36	14
青森県	0	0	7	0	5	0	4	1	6	1
岩手県	0	0	3	0	4	2	4	1	2	1
宮城県	0	0	46	7	41	6	31	6	35	15
秋田県	0	0	7	0	7	1	9	3	5	2
山形県	0	0	28	9	22	5	17	2	21	7
福島県	0	0	18	5	20	5	18	3	17	5
茨城県	0	0	11	0	9	3	13	4	18	6
栃木県	0	0	9	4	7	4	10	1	13	3
群馬県	0	0	23	4	27	7	35	7	33	4
埼玉県	0	0	69	7	75	19	92	17	92	13
千葉県	2	0	15	6	21	13	38	11	47	12
東京都	0	0	70	18	66	17	52	10	59	24
神奈川県	0	0	25	9	38	14	36	7	5	3
新潟県	0	0	14	4	13	5	15	5	17	3
富山県	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
石川県	0	0	5	2	2	0	5	3	8	4
福井県	0	0	2	0	0	0	4	2	9	0
山梨県	0	0	7	1	9	6	0	0	0	0
長野県	0	0	13	1	9	4	9	1	12	2
岐阜県	0	0	12	0	9	2	8	0	7	3
静岡県	0	0	47	5	36	11	44	10	5	2
愛知県	0	0	54	7	58	16	56	9	54	12
三重県	0	0	3	0	10	2	9	4	15	7
滋賀県	0	0	4	2	8	4	27	9	0	0
京都府	0	0	18	2	18	0	20	0	16	1
大阪府	0	0	60	12	91	31	114	44	147	37
兵庫県	0	0	29	6	26	5	12	3	8	2
奈良県	0	0	6	3	6	3	12	3	4	0
和歌山県	0	0	4	2	9	4	8	2	3	0
鳥取県	0	0	2	1	3	1	12	3	17	4
島根県	0	0	0	0	3	1	4	1	3	1
岡山県	0	0	11	6	17	2	18	4	25	11
広島県	0	0	16	9	32	15	34	7	24	9
山口県	0	0	1	1	3	0	3	0	2	1
徳島県	0	0	2	0	7	6	8	3	10	3
香川県	0	0	6	1	5	1	4	0	4	1
愛媛県	0	0	5	3	10	2	11	1	13	3
高知県	0	0	12	3	5	2	17	9	22	5
福岡県	0	0	16	7	21	6	4	2	12	2
佐賀県	0	0	6	2	6	2	6	0	8	2
長崎県	0	0	1	0	3	0	4	2	22	5
熊本県	0	0	6	1	6	0	8	4	4	1
大分県	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1
宮崎県	0	0	6	0	12	5	17	6	10	4
鹿児島県	0	0	10	1	9	3	7	1	12	5
沖縄県	0	0	55	17	53	14	68	25	70	22
合計	2	0	796	180	868	252	969	256	955	263

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

網掛けは、データ不足があることを示す。

表Ⅱ-I-2 中枢性思春期早発症(E22.8A)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口×10 ⁻³)の推移										
E22.8A 中枢性思春期早発症										
	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	0	0.000	32	0.032	27	0.027	39	0.041	36	0.042
青森県	0	0.000	7	0.025	5	0.019	4	0.016	6	0.024
岩手県	0	0.000	3	0.011	4	0.016	4	0.016	2	0.008
宮城県	0	0.000	46	0.100	41	0.091	31	0.070	35	0.080
秋田県	0	0.000	7	0.035	7	0.036	9	0.049	5	0.086
山形県	0	0.000	28	0.122	22	0.098	17	0.078	21	0.100
福島県	0	0.000	18	0.043	20	0.048	18	0.044	17	0.053
茨城県	0	0.000	11	0.019	9	0.016	13	0.023	18	0.033
栃木県	0	0.000	9	0.023	7	0.018	10	0.026	13	0.034
群馬県	0	0.000	23	0.058	27	0.069	35	0.091	33	0.088
埼玉県	0	0.000	69	0.051	75	0.056	92	0.069	92	0.069
千葉県	2	0.002	15	0.013	21	0.019	38	0.034	47	0.042
東京都	0	0.000	70	0.035	66	0.033	52	0.025	59	0.028
神奈川県	0	0.000	25	0.034	38	0.035	36	0.033	5	0.068
新潟県	0	0.000	14	0.031	13	0.029	15	0.035	17	0.040
富山県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	1	0.005	1	0.005
石川県	0	0.000	5	0.022	2	0.009	5	0.023	8	0.037
福井県	0	0.000	2	0.012	0		4	0.025	9	0.057
山梨県	0	0.000	7	0.040	9	0.053	0		0	
長野県	0	0.000	13	0.031	9	0.022	9	0.022	12	0.030
岐阜県	0	0.000	12	0.029	9	0.022	8	0.020	7	0.018
静岡県	0	0.000	47	0.065	36	0.050	44	0.062	5	0.024
愛知県	0	0.000	54	0.037	58	0.040	56	0.039	54	0.037
三重県	0	0.000	3	0.008	10	0.028	9	0.025	15	0.043
滋賀県	0	0.000	4	0.014	8	0.027	27	0.094	0	
京都府	0	0.000	18	0.037	18	0.037	20	0.042	16	0.063
大阪府	0	0.000	60	0.036	91	0.055	114	0.070	147	0.090
兵庫県	0	0.000	29	0.027	26	0.024	12	0.015	8	0.010
奈良県	0	0.000	6	0.022	6	0.022	12	0.045	4	0.057
和歌山県	0	0.000	4	0.021	9	0.047	8	0.043	3	0.043
鳥取県	0	0.000	2	0.017	3	0.026	12	0.108	17	0.160
島根県	0	0.000	0	0.000	3	0.022	4	0.031	3	0.024
岡山県	0	0.000	11	0.029	17	0.045	18	0.049	25	0.069
広島県	0	0.000	16	0.029	32	0.059	34	0.063	24	0.045
山口県	0	0.000	1	0.004	3	0.011	3	0.012	2	0.008
徳島県	0	0.000	2	0.014	7	0.048	8	0.056	10	0.072
香川県	0	0.000	6	0.032	5	0.026	4	0.022	4	0.022
愛媛県	0	0.000	5	0.018	10	0.037	11	0.042	13	0.051
高知県	0	0.000	12	0.085	5	0.079	17	0.129	22	0.175
福岡県	0	0.000	16	0.016	21	0.022	4	0.023	12	0.068
佐賀県	0	0.000	6	0.033	6	0.034	6	0.035	8	0.047
長崎県	0	0.000	1	0.003	3	0.010	4	0.014	22	0.083
熊本県	0	0.000	6	0.016	6	0.017	8	0.022	4	0.019
大分県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	2	0.009	2	0.009
宮崎県	0	0.000	6	0.026	12	0.053	17	0.077	10	0.047
鹿児島県	0	0.000	10	0.028	9	0.026	7	0.021	12	0.036
沖縄県	0	0.000	55	0.159	53	0.155	68	0.204	70	0.214
合計	2	0.000	796	0.033	868	0.036	969	0.041	955	0.041

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

データ不足のある自治体の小児人口は除いている。

表Ⅱ-J-1 ターナー (Turner) 症候群 (Q96)

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	45	8	47	2	37	1	40	5	31	2
青森県	1	0	4	2	11	0	13	3	12	1
岩手県	18	2	21	2	18	3	18	3	15	5
宮城県	25	4	23	2	23	2	27	4	30	1
秋田県	12	3	13	0	10	0	7	0	1	0
山形県	7	1	11	0	12	2	11	2	11	0
福島県	16	2	19	3	20	2	21	2	17	3
茨城県	1	0	9	2	3	0	8	0	11	1
栃木県	24	6	26	1	12	3	24	1	23	0
群馬県	15	6	20	2	16	0	24	6	23	0
埼玉県	54	4	78	12	87	12	91	15	93	16
千葉県	12	7	20	7	14	5	63	5	65	10
東京都	88	11	123	14	127	17	133	14	129	17
神奈川県	18	3	64	9	63	3	64	7	6	2
新潟県	20	2	25	4	21	3	22	3	18	2
富山県	5	0	9	4	9	1	10	3	6	0
石川県	3	1	4	3	5	1	10	5	11	1
福井県	8	2	4	0	0	0	22	7	17	0
山梨県	13	2	15	2	14	1	0	0	0	0
長野県	9	0	27	2	10	1	28	3	27	2
岐阜県	11	0	15	2	15	0	15	1	14	1
静岡県	14	3	30	2	27	7	25	3	9	3
愛知県	80	17	79	8	73	6	81	12	86	9
三重県	0	0	8	0	13	2	13	2	14	1
滋賀県	22	3	21	0	17	0	7	1	0	0
京都府	30	6	31	2	22	1	25	0	11	1
大阪府	111	19	94	9	101	11	93	10	103	13
兵庫県	46	8	63	6	70	7	47	10	38	3
奈良県	19	5	21	3	21	2	21	3	8	0
和歌山県	2	2	11	3	14	4	17	2	3	1
鳥取県	9	0	8	1	6	1	5	0	7	0
島根県	4	1	3	1	8	0	4	0	5	1
岡山県	10	2	12	2	19	4	16	1	12	0
広島県	20	1	23	0	20	4	17	3	18	1
山口県	7	1	11	0	9	0	8	1	12	3
徳島県	10	0	8	0	9	0	7	0	4	1
香川県	11	0	12	0	12	0	12	1	11	1
愛媛県	21	0	18	0	20	3	21	1	19	0
高知県	7	1	9	1	7	1	11	1	10	0
福岡県	42	4	19	3	23	3	7	0	7	1
佐賀県	12	1	8	0	4	0	7	1	3	0
長崎県	5	0	12	3	21	2	19	4	25	2
熊本県	13	3	25	4	24	2	20	2	15	1
大分県	5	2	3	1	9	1	10	0	10	1
宮崎県	17	4	20	3	21	3	22	1	18	1
鹿児島県	22	7	20	3	11	0	13	5	18	6
沖縄県	17	5	18	2	19	1	17	1	18	4
合計	961	159	1164	132	1127	122	1196	154	1042	118

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

網掛けは、データ不足があることを示す。

表Ⅱ-J-2 ターナー (Turner) 症候群 (Q96)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口×10 ⁻³)の推移										
Q96 ターナー (Turner) 症候群										
	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	45	0.044	47	0.046	37	0.038	40	0.042	31	0.036
青森県	1	0.004	4	0.015	11	0.041	13	0.051	12	0.049
岩手県	18	0.066	21	0.080	18	0.070	18	0.072	15	0.063
宮城県	25	0.054	23	0.050	23	0.051	27	0.061	30	0.069
秋田県	12	0.060	13	0.066	10	0.052	7	0.038	1	0.017
山形県	7	0.030	11	0.048	12	0.053	11	0.050	11	0.052
福島県	16	0.037	19	0.045	20	0.048	21	0.051	17	0.053
茨城県	1	0.002	9	0.015	3	0.005	8	0.014	11	0.020
栃木県	24	0.060	26	0.066	12	0.031	24	0.063	23	0.061
群馬県	15	0.038	20	0.051	16	0.041	24	0.063	23	0.061
埼玉県	54	0.040	78	0.058	87	0.065	91	0.068	93	0.070
千葉県	12	0.011	20	0.018	14	0.013	63	0.057	65	0.059
東京都	88	0.041	123	0.062	127	0.063	133	0.065	129	0.062
神奈川県	18	0.016	64	0.088	63	0.058	64	0.059	6	0.081
新潟県	20	0.044	25	0.055	21	0.047	22	0.051	18	0.043
富山県	5	0.025	9	0.045	9	0.045	10	0.051	6	0.031
石川県	3	0.013	4	0.017	5	0.022	10	0.045	11	0.050
福井県	8	0.048	4	0.025	0		22	0.136	17	0.107
山梨県	13	0.074	15	0.086	14	0.082	0		0	
長野県	9	0.021	27	0.064	10	0.024	28	0.069	27	0.068
岐阜県	11	0.026	15	0.036	15	0.036	15	0.037	14	0.035
静岡県	14	0.019	30	0.041	27	0.038	25	0.035	9	0.044
愛知県	80	0.055	79	0.055	73	0.050	81	0.056	86	0.059
三重県	0	0.000	8	0.022	13	0.036	13	0.037	14	0.040
滋賀県	22	0.075	21	0.072	17	0.058	7	0.024	0	
京都府	30	0.061	31	0.063	22	0.046	25	0.053	11	0.044
大阪府	111	0.065	94	0.057	101	0.061	93	0.057	103	0.063
兵庫県	46	0.042	63	0.058	70	0.065	47	0.060	38	0.049
奈良県	19	0.070	21	0.076	21	0.077	21	0.080	6	0.086
和歌山県	2	0.029	11	0.056	14	0.073	17	0.090	3	0.043
鳥取県	9	0.076	8	0.068	6	0.052	5	0.045	7	0.066
島根県	4	0.029	3	0.022	8	0.059	4	0.031	5	0.039
岡山県	10	0.026	12	0.031	19	0.051	16	0.044	12	0.033
広島県	20	0.036	23	0.042	20	0.037	17	0.032	18	0.034
山口県	7	0.026	11	0.041	9	0.034	8	0.031	12	0.048
徳島県	10	0.066	8	0.054	9	0.062	7	0.049	4	0.029
香川県	11	0.057	12	0.063	12	0.063	12	0.065	11	0.059
愛媛県	21	0.077	18	0.066	20	0.074	21	0.080	19	0.075
高知県	7	0.048	9	0.064	7	0.111	11	0.083	10	0.079
福岡県	42	0.043	19	0.019	23	0.024	7	0.040	7	0.040
佐賀県	12	0.065	8	0.044	4	0.022	7	0.041	3	0.018
長崎県	5	0.017	12	0.041	21	0.073	19	0.069	25	0.094
熊本県	13	0.035	25	0.068	24	0.066	20	0.056	15	0.072
大分県	5	0.021	3	0.013	9	0.040	10	0.045	10	0.046
宮崎県	17	0.072	20	0.086	21	0.093	22	0.100	18	0.085
鹿児島県	22	0.061	20	0.057	11	0.032	13	0.038	18	0.055
沖縄県	17	0.050	18	0.052	19	0.056	17	0.051	18	0.055
合計	961	0.041	1,164	0.048	1,127	0.047	1,196	0.051	1,042	0.045

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

データ不足のある自治体の小児人口は除いている。

表Ⅱ-K-1 プラダー・ウィルリ(Prader-Willi)症候群(Q87.1A)

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	26	9	24	1	22	3	26	2	18	2
青森県	6	0	5	0	9	1	7	0	6	0
岩手県	5	0	1	0	2	2	3	1	3	0
宮城県	9	3	8	1	9	1	11	2	12	2
秋田県	8	1	8	0	6	0	7	0	2	0
山形県	10	2	6	0	6	0	6	0	8	2
福島県	13	2	11	2	14	2	15	3	15	0
茨城県	1	1	1	0	1	0	1	0	2	0
栃木県	9	1	4	1	4	1	7	1	6	0
群馬県	8	1	8	0	9	0	8	0	7	1
埼玉県	31	4	30	5	35	10	36	2	39	6
千葉県	7	2	8	3	3	1	17	2	21	7
東京都	44	8	51	8	54	8	52	5	53	5
神奈川県	8	1	21	3	21	1	21	1	2	0
新潟県	6	1	8	3	7	3	8	1	8	3
富山県	4	0	5	1	5	1	4	0	4	0
石川県	0	0	3	1	3	1	5	1	7	2
福井県	3	0	1	0	0	0	3	2	3	0
山梨県	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0
長野県	8	3	15	0	4	0	15	1	11	0
岐阜県	7	2	3	1	3	0	5	1	6	0
静岡県	15	4	37	1	24	4	22	2	8	0
愛知県	35	11	28	1	30	5	29	1	27	2
三重県	1	1	3	0	7	0	4	1	10	3
滋賀県	11	0	6	0	3	0	2	1	0	0
京都府	16	8	9	0	12	1	13	0	5	0
大阪府	46	6	24	3	27	3	36	5	33	1
兵庫県	16	0	13	2	12	0	10	1	10	2
奈良県	10	3	5	0	7	1	4	1	0	0
和歌山県	1	0	2	0	4	2	5	0	4	0
鳥取県	4	1	4	0	1	0	1	0	2	0
島根県	6	0	0	0	2	0	1	0	2	1
岡山県	10	1	10	1	10	0	8	0	5	0
広島県	14	2	9	1	13	1	12	0	15	3
山口県	1	0	5	0	3	0	3	0	4	0
徳島県	3	0	4	1	3	0	2	0	1	0
香川県	11	3	6	0	4	0	3	0	4	0
愛媛県	10	0	5	2	5	1	4	0	3	1
高知県	5	1	2	1	0	0	4	2	3	0
福岡県	16	3	9	3	10	2	4	0	4	0
佐賀県	4	1	3	1	3	0	4	0	3	1
長崎県	1	0	6	2	4	0	3	1	4	1
熊本県	3	0	1	0	3	0	1	0	3	1
大分県	3	2	2	1	6	0	6	1	4	1
宮崎県	2	0	2	0	3	1	5	2	3	0
鹿児島県	2	0	2	0	2	0	3	1	4	2
沖縄県	3	1	3	0	4	0	4	0	4	0
合計	464	90	422	50	420	57	450	44	398	49

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
 平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。
 網掛けは、データ不足があることを示す。

表Ⅱ-K-2 プラダー・ウィルリ(Prader-Willi)症候群(Q87.1A)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口×10⁻³)の推移
Q87.1A プラダー・ウィルリ(Prader-Willi)症候群

	H16年		H17年		H18年		H19年		H20年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	26	0.026	24	0.024	22	0.022	26	0.027	18	0.021
青森県	6	0.022	5	0.018	9	0.034	7	0.027	6	0.024
岩手県	5	0.018	1	0.004	2	0.008	3	0.012	3	0.013
宮城県	9	0.019	8	0.017	9	0.020	11	0.025	12	0.028
秋田県	8	0.040	8	0.040	6	0.031	7	0.038	2	0.034
山形県	10	0.043	6	0.026	6	0.027	6	0.027	8	0.038
福島県	13	0.030	11	0.026	14	0.034	15	0.037	15	0.047
茨城県	1	0.002	1	0.002	1	0.002	1	0.002	2	0.004
栃木県	9	0.023	4	0.010	4	0.010	7	0.018	6	0.016
群馬県	8	0.021	8	0.020	9	0.023	8	0.021	7	0.019
埼玉県	31	0.023	30	0.022	35	0.026	36	0.027	39	0.029
千葉県	7	0.006	8	0.007	3	0.003	17	0.015	21	0.019
東京都	44	0.020	51	0.026	54	0.027	52	0.025	53	0.025
神奈川県	8	0.007	21	0.029	21	0.019	21	0.019	2	0.027
新潟県	6	0.013	8	0.018	7	0.016	8	0.018	8	0.019
富山県	4	0.020	5	0.025	5	0.025	4	0.020	4	0.021
石川県	0	0.000	3	0.013	3	0.013	5	0.023	7	0.032
福井県	3	0.018	1	0.006	0		3	0.019	3	0.019
山梨県	2	0.011	1	0.006	1	0.006	0		0	
長野県	8	0.019	15	0.036	4	0.010	15	0.037	11	0.028
岐阜県	7	0.017	3	0.007	3	0.007	5	0.012	6	0.015
静岡県	15	0.021	37	0.051	24	0.033	22	0.031	8	0.039
愛知県	35	0.024	28	0.019	30	0.021	29	0.020	27	0.019
三重県	1	0.003	3	0.008	7	0.019	4	0.011	10	0.029
滋賀県	11	0.038	6	0.021	3	0.010	2	0.007	0	
京都府	16	0.032	9	0.018	12	0.025	13	0.027	5	0.020
大阪府	46	0.027	24	0.015	27	0.016	36	0.022	33	0.020
兵庫県	16	0.015	13	0.012	12	0.011	10	0.013	10	0.013
奈良県	10	0.037	5	0.018	7	0.026	4	0.015	0	0.000
和歌山県	1	0.014	2	0.010	4	0.021	5	0.027	4	0.057
鳥取県	4	0.034	4	0.034	1	0.009	1	0.009	2	0.019
島根県	6	0.044	0	0.000	2	0.015	1	0.008	2	0.016
岡山県	10	0.026	10	0.026	10	0.027	8	0.022	5	0.014
広島県	14	0.025	9	0.016	13	0.024	12	0.022	15	0.028
山口県	1	0.004	5	0.019	3	0.011	3	0.012	4	0.016
徳島県	3	0.020	4	0.027	3	0.021	2	0.014	1	0.007
香川県	11	0.057	6	0.032	4	0.021	3	0.016	4	0.022
愛媛県	10	0.037	5	0.018	5	0.019	4	0.015	3	0.012
高知県	5	0.034	2	0.014	0	0.000	4	0.030	3	0.024
福岡県	16	0.016	9	0.009	10	0.010	4	0.023	4	0.023
佐賀県	4	0.022	3	0.017	3	0.017	4	0.023	3	0.018
長崎県	1	0.003	6	0.020	4	0.014	3	0.011	4	0.015
熊本県	3	0.008	1	0.003	3	0.008	1	0.003	3	0.014
大分県	3	0.013	2	0.009	6	0.027	6	0.027	4	0.018
宮崎県	2	0.008	2	0.009	3	0.013	5	0.023	3	0.014
鹿児島県	2	0.006	2	0.006	2	0.006	3	0.009	4	0.012
沖縄県	3	0.009	3	0.009	4	0.012	4	0.012	4	0.012
合計	464	0.020	422	0.018	420	0.018	450	0.019	398	0.017

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

データ不足のある自治体の小児人口は除いている。

表3 不適切病名の登録状況

現在の疾患名(不適切病名)	ICD10	同一ICD10コードの疾患名	置き換えを希望する疾患名	不適切病名の登録人数			
				H17年	H18年	H19年	H20年
真性思春期早発症	E22.8A	中枢性思春期早発症	中枢性思春期早発症	377	377	394	371
成長ホルモン分泌低下(欠乏、欠損)症	E23.0E	成長ホルモン分泌不全性低身長症	成長ホルモン(GH)分泌不全症	504	433	267	87
低ゴナドトロピン性類宦官症	E23.0B	ゴナドトロピン分泌低下(欠乏、欠損)症、ゴナドトロピン(単独)欠乏症(欠損症)、カールマン症候群、Kallmann症候群	低ゴナドトロピン性性腺機能低下症	9	6	7	7
末端肥大症	E22.0	下垂体性巨人症	先端巨大症	0	0	0	0
クレチン症	E03.1A	congenital hypothyroidism、異所性甲状腺、甲状腺形成不全、先天性甲状腺機能低下症、先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)、cretinism	先天性甲状腺機能低下症(クレチン症)	2369	4816	4568	3923
粘液水腫	E03.9	クレチン症、甲状腺機能低下症	萎縮性甲状腺炎	0	0	0	0
橋本病	E06.3	橋本病、慢性甲状腺炎	合わせて、慢性甲状腺炎(橋本病)	466	447	470	397
慢性甲状腺炎				535	545	569	469
特発性低血糖症	E16.2	ロイシン過敏性低血糖症	小児低血糖症	71	68	66	60
睪丸機能低下症	E29.1	性腺性思春期遅発症(男)、高ゴナドトロピン性類宦官症、原発性性腺機能低下症(男)	精巣機能低下症	44	42	50	41
睪丸形成不全	Q55.1	なし	精巣形成不全症	11	10	11	7
睪丸欠損症	Q55.0	なし	精巣欠損症	9	8	6	4
睪丸腫瘍	D40.1	なし	精巣腫瘍	3	2	1	1
睪丸性女性化症	E34.5	アンドロゲン不応症	アンドロゲン受容体異常症	12	9	10	8
高ゴナドトロピン性類宦官症	E29.1	睪丸機能低下症、性腺性思春期遅発症(男)、原発性性腺機能低下症(男)	高ゴナドトロピン性性腺機能低下症	1	0	2	3
女性仮性半陰陽	Q56.2	なし	46,XX性分化疾患	7	2	3	3
真性半陰陽	Q56.0	半陰陽	卵精巢性性分化疾患	11	14	12	8
男性仮性半陰陽	Q56.1	なし	46,XY性分化疾患	15	16	14	9
卵巣形成不全	Q50.3	なし	卵巣形成不全症	10	11	9	12
アジソン病	E27.1	Addison病	副腎皮質機能低下症(アジソン(Addison)病)	27	30	34	30
先天性副腎(皮質)過形成	E25.0	なし	先天性副腎皮質過形成症	115	83	40	23
ロイシン過敏性低血糖症	E16.2	特発性低血糖症	現在、学問的な立場上使用されなくなった	8	10	10	9
性腺性思春期遅発症(女)	E28.3	原発性性腺機能低下症(女)、卵巣機能低下症		8	8	20	14
性腺性思春期遅発症(男)	E29.1	睪丸機能低下症、高ゴナドトロピン性類宦官症、原発性性腺機能低下症(男)		7	8	7	7
偽性特発性副甲状腺機能低下症	E20.1	仮性副甲状腺機能低下症、偽性偽性副甲状腺機能低下症、偽性副甲状腺機能低下症		2	3	5	1
副腎性器症候群(AGS)	E25.9	なし		12	8	7	0

表 4 21OHD の年齢別身長 SDS、BMISDS および(骨年齢-暦年齢)

年齢	身長SDS					BMISDS					骨年齢-暦年齢				
	男子		女子		P値	男子		女子		P値	男子		女子		P値
	平均±SD	N	平均±SD	N		平均±SD	N	平均±SD	N		平均±SD	N	平均±SD	N	
0歳	0.06±1.79	39	0.12±1.69	33	0.884	-1.31±1.67	39	-1.17±1.75	33	0.721	ND		ND		
1歳	-1.31±1.96	32	-1.49±1.15	40	0.637	-0.45±1.19	32	0.03±1.13	40	0.088	ND		ND		
2歳	-1.27±1.34	49	-1.15±1.15	34	0.635	0.21±1.05	49	0.36±1.03	34	0.515	-0.7±0.2	3	-0.7±0.5	5	0.824
3歳	-0.09±1.11	44	-1.22±1.14	42	0.19	0.39±1.15	44	0.58±1.03	42	0.436	-0.5±0.4	6	-0.5±2.3	16	0.972
4歳	-0.63±1.17	46	-0.84±1.32	57	0.385	0.57±1.03	46	0.62±0.93	57	0.818	-0.4±0.7	13	-0.1±1.1	16	0.458
5歳	-0.48±1.44	48	-0.64±1.11	69	0.506	0.45±1.12	48	0.55±1.38	69	0.662	0.1±1.1	12	-0.3±1.7	17	0.415
6歳	-0.62±0.10	61	-0.85±1.22	58	0.255	0.56±0.96	61	0.47±1.03	58	0.645	0.3±1.6	17	0.1±1.5	18	0.731
7歳	-0.44±1.10	58	-0.45±1.32	59	0.971	0.43±1.07	58	0.34±1.27	59	0.676	0.2±2.3	14	0.5±2.3	18	0.695
8歳	-0.52±1.37	68	-0.30±1.42	55	0.373	0.50±1.11	68	0.36±0.83	55	0.419	0.9±2.1	17	0.4±2.1	25	0.465
9歳	-0.32±1.22	64	-0.45±1.16	61	0.551	0.69±0.91	64	0.38±0.96	61	0.065	0.7±1.9	27	0.4±1.2	18	0.452
10歳	-0.41±1.09	69	-0.32±1.18	55	0.678	0.51±1.25	69	0.49±0.93	55	0.905	0.6±1.8	27	0.8±1.3	28	0.551
11歳	-0.46±1.33	56	-0.76±1.20	60	0.196	0.55±1.02	56	0.39±1.34	60	0.454	0.2±1.4	21	0.5±1.7	35	0.516
12歳	-0.58±1.23	44	-0.88±1.11	64	0.186	0.65±0.98	44	0.25±0.91	64	0.03	0.3±1.0	21	-0.2±1.1	20	0.094
13歳	-0.87±1.08	51	-1.02±1.20	61	0.482	0.29±0.97	51	0.30±1.18	61	0.959	-0.2±1.1	28	0.0±1.6	19	0.628
14歳	-1.08±1.18	68	-1.12±1.21	65	0.861	0.23±1.09	68	0.30±1.08	65	0.715	-0.6±1.4	27	-0.3±1.8	15	0.527
15歳	-1.18±1.05	55	-1.25±1.03	57	0.703	0.26±0.98	55	0.21±1.16	57	0.799	-1.5±1.4	15	-1.0±0.9	15	0.274
16歳	-1.35±1.22	53	-0.98±0.99	58	0.082	0.27±1.03	53	0.27±1.51	58	0.99	-1.1±1.9	10	1.9±2.6	4	0.038
17歳	-1.66±1.17	57	-0.99±1.16	52	0.003	0.37±1.18	57	0.67±1.03	52	0.162	-2.7±1.8	3	-0.8±0.9	4	0.127

図1 法制化前後における内分泌疾患(成長ホルモン分泌不全性低身長症を除く)の登録者数(人)

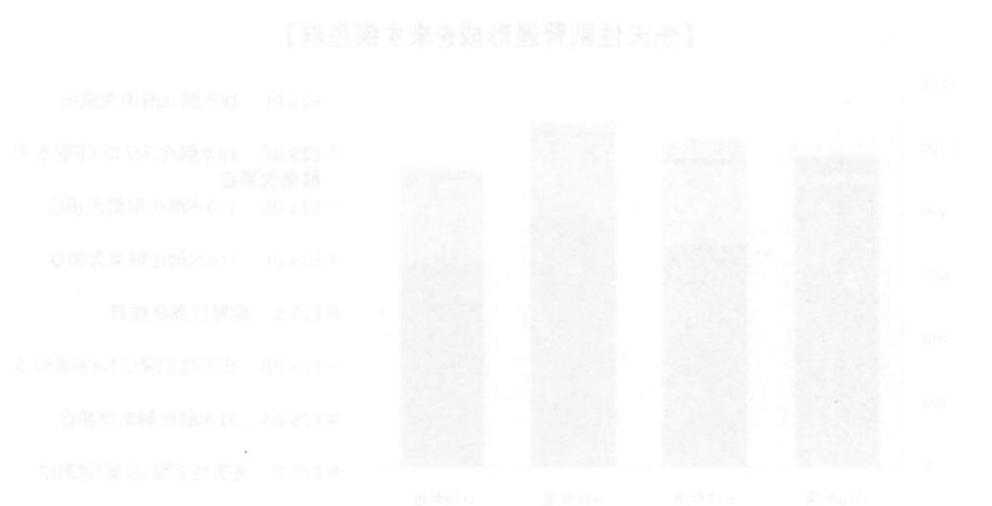
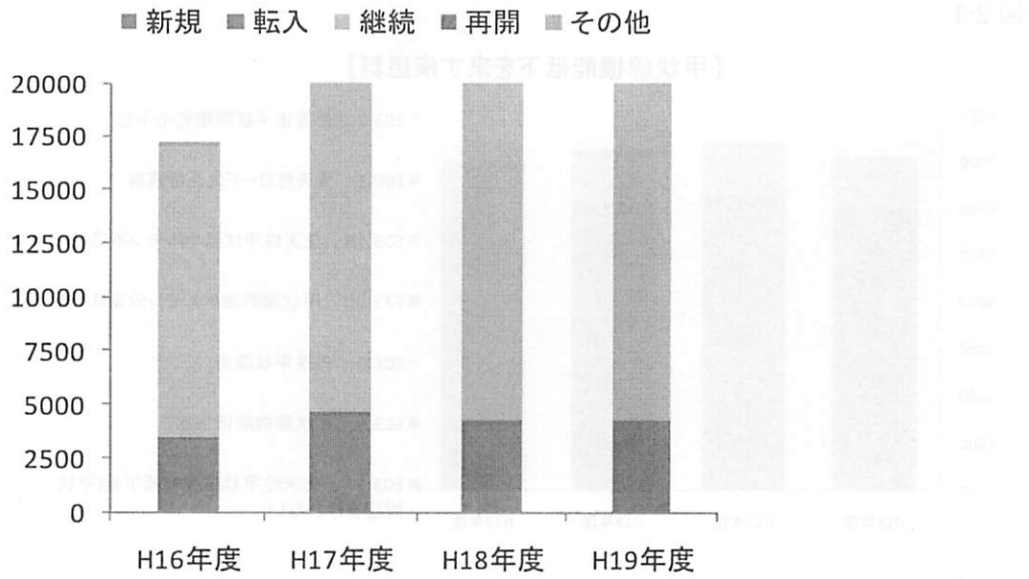


図 2 法制化後に登録の細分化が進んだ疾患群における登録数(人)の推移

図 2-1

【甲状腺機能低下を来す疾患群】

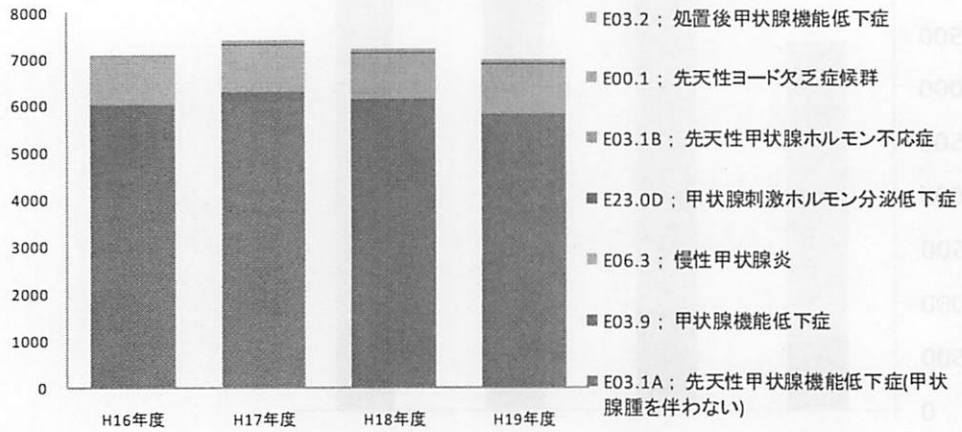


図 2-2

【先天性副腎過形成を来す疾患群】

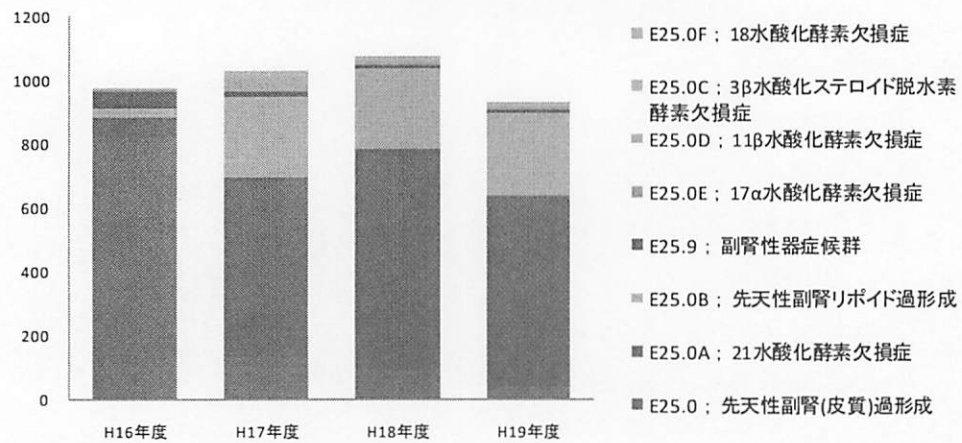


図 2-3

【思春期早発を来す疾患群】

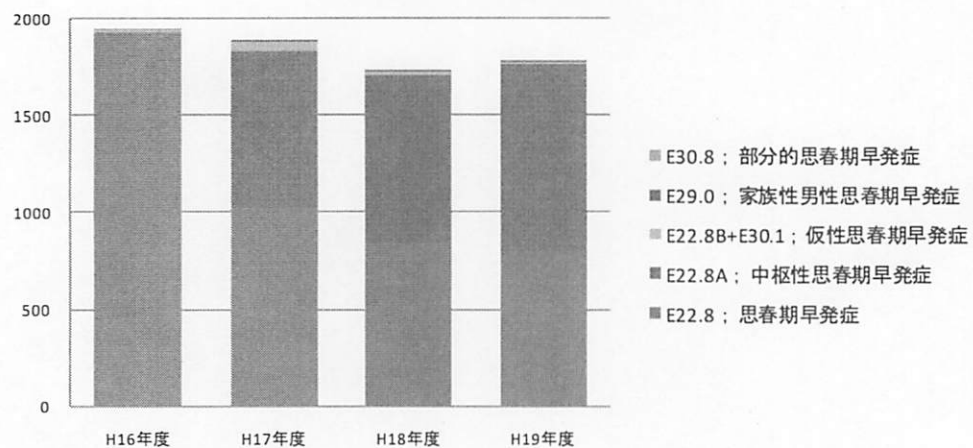


図3 21OHD 解析対象例

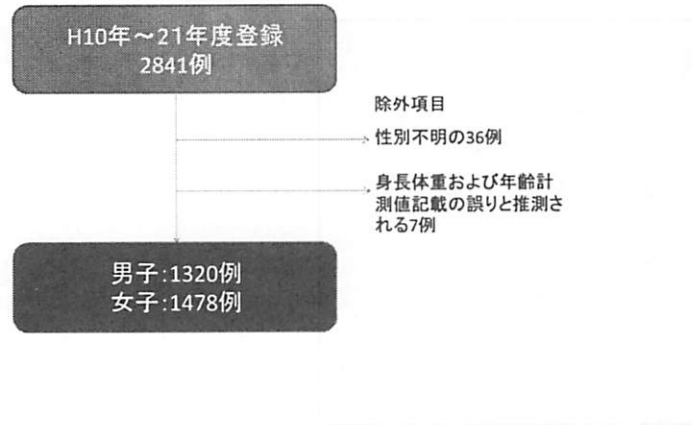


図4 21OHD 解析_成人身長、体重の解析対象例

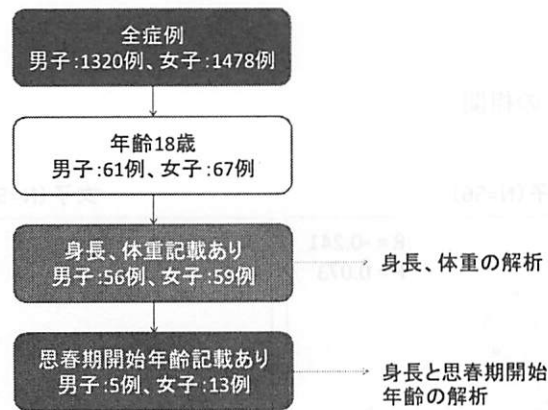


図5 成人身長(平均±SD)分布

	男子(N=56)	女子(N=59)
身長(cm)	161.1±6.8	153.3±5.7
平均身長SDS	-1.67SD	-0.91SD
標準身長(cm)	170.8±5.8	158.1±5.3

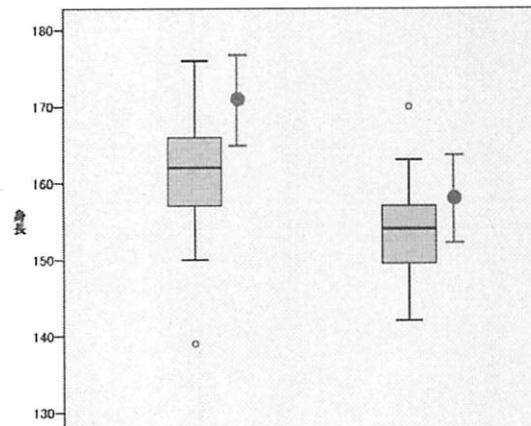


図 6 成人身長と思春期開始年齢の相関

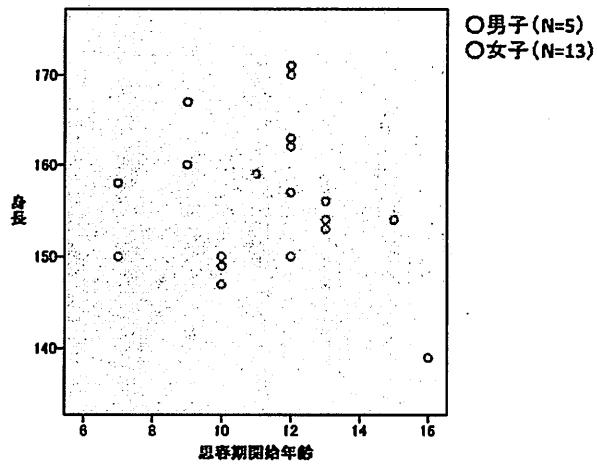


図 7 成人身長とBMIの相関

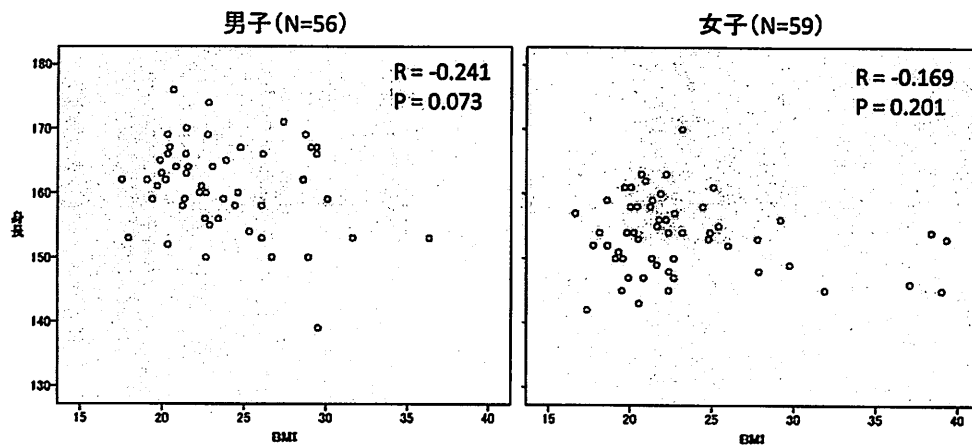


図 8 21OHD 解析_身長、体重の横断的解析対象例

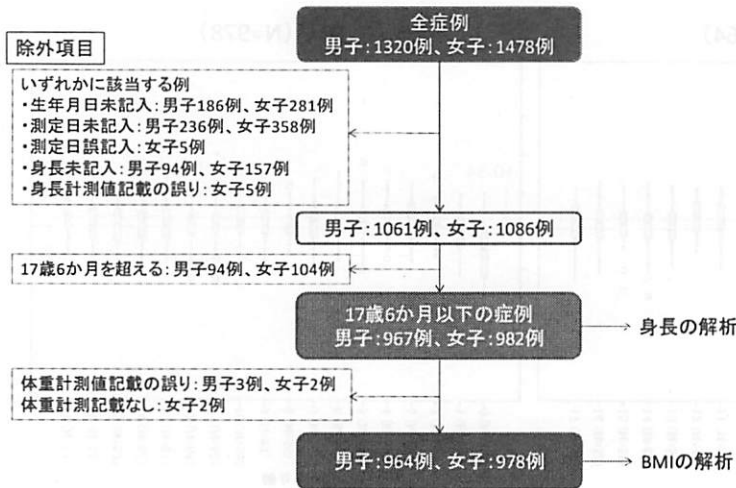


図 9 年齢別、男女別身長 SDS

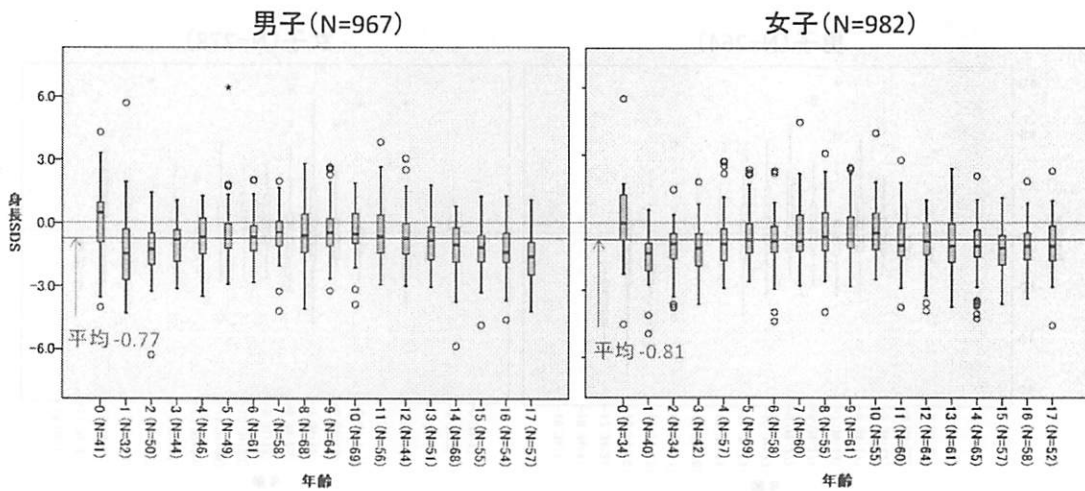


图 10 年龄别、男女别 BMISDS

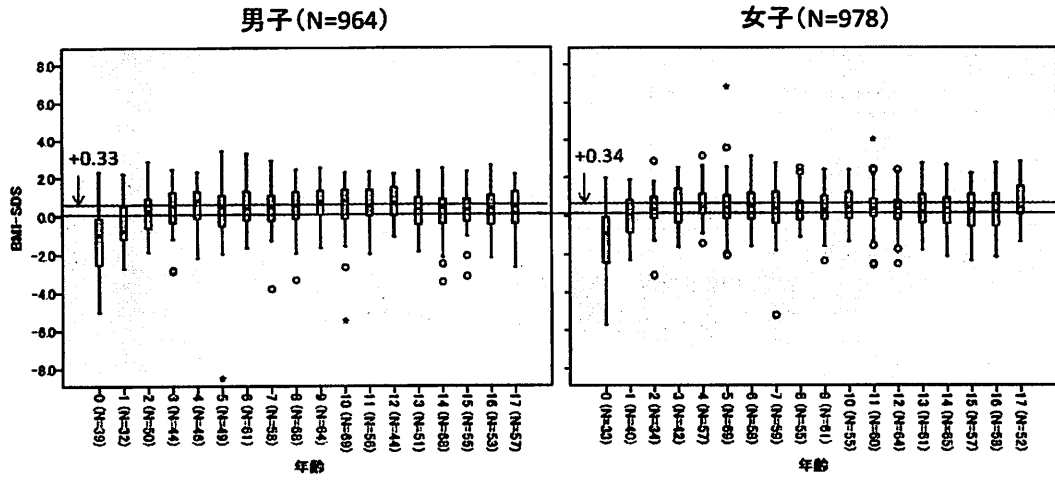


图 11 年龄别、男女别 (骨年龄-曆年龄)

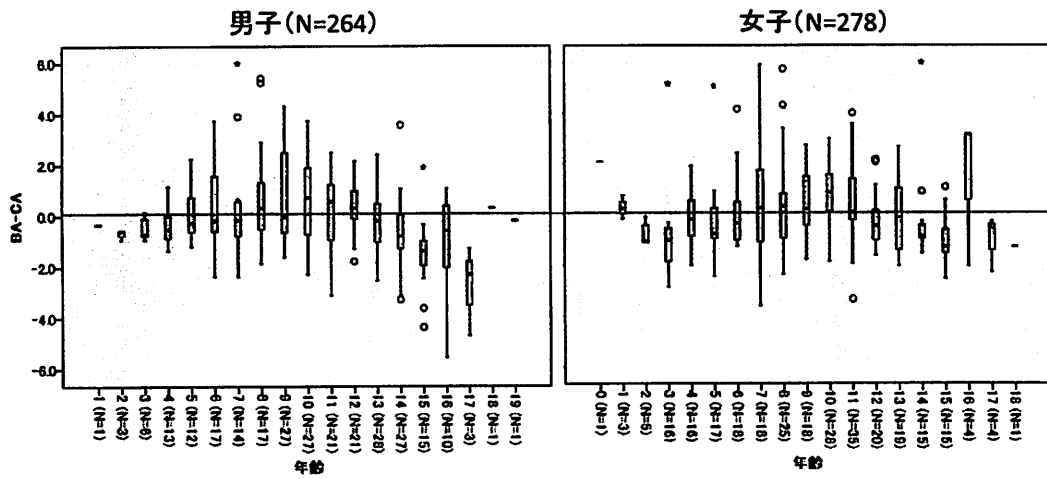


図 12 21OHD 解析_思春期の横断的解析対象例

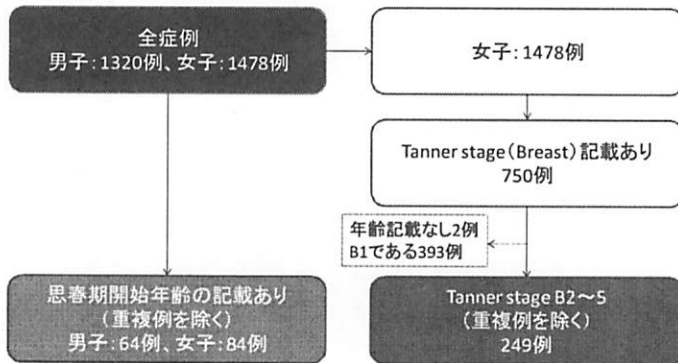


図 13 思春期開始年齢の分布

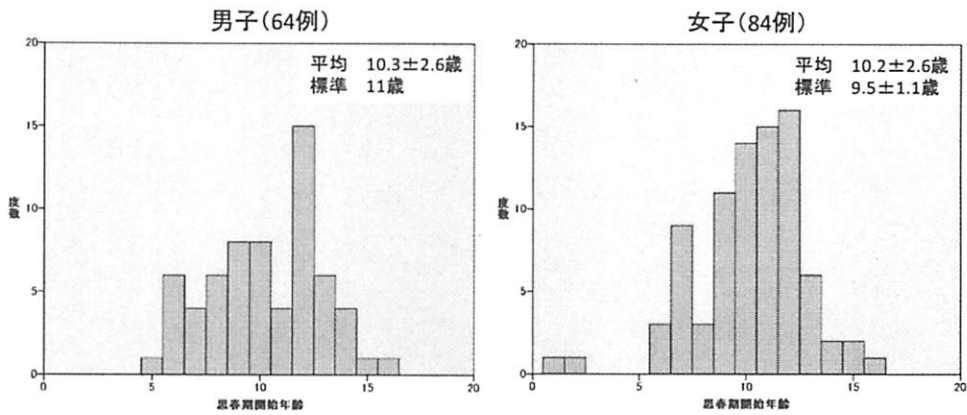


図 14 21OHD 解析_女子の性成熟段階の累積頻度

